

令和 6 年度 事業 報告

1. 総 括

少子高齢化・核家族化の進行や人口減少等の社会的背景により、地域のつながりが薄れ、高齢者や障がいのある人、子ども、生活困窮の問題など地域における生活課題や福祉ニーズが複雑化・多様化する中、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる「地域共生社会」の実現に向けた取り組みの強化が求められています。

糸島市社会福祉協議会（以下、「本会」）では、多様な生活課題を抱える相談者からの相談や課題等を包括的に受け止め、「つながり続ける相談支援体制」を構築することを目的とし、「相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」による3つの支援を一体的に行う重層的支援体制整備事業の充実に努めました。

小地域福祉活動の推進については、地域福祉計画及び地域福祉活動計画（以下、「地域福祉計画等」）に基づき、高齢者等の見守りをはじめ、地域独自のきめ細かな取り組みを推進する校区社会福祉協議会（以下、「校区社協」）や小地域ネットワーク福祉会をはじめ、民生委員児童委員、福祉委員の活動を支援しました。

介護事業については、依然として厳しい事業運営が続く中、安定した事業所の運営ができるよう管理者会議等での動向把握をはじめ、虐待防止・身体拘束適正化委員会を通じ、虐待防止の取り組みや研修等を実施し、利用者及び家族が安心して利用していただける環境の整備に努めました。

（1）小地域福祉活動の推進

校区社協を通じて、高齢者をはじめとする見守り活動を実施し、70歳以上の新規該当者 325 人ならびに台帳登録者を対象に、校区社協を通じて聞き取り調査を実施しました。

また、行政区単位に設置される小地ネットワーク福祉会への支援では、複雑化・多様化する地域課題の現状や活動状況について福祉会同士の協議の場を設け、情報の共有や活動継続のための方向性等について意見交換を行いました。

（２）地域福祉活動計画の推進

地域福祉活動計画の推進については、それぞれの分野ごとに事業を遂行し、推進委員会において進捗状況の報告を行いました。また、次期計画の策定に向けた調査・研究について市との協議を進めました。

令和６年度は系島市社会福祉協議会発展強化計画の策定や、福祉教育プログラムの作成についての協議や相談支援ガイドブックの作成に取り組みました。

また、次期活動計画の策定に向け、福祉団体等に対するアンケート調査を実施し、団体等が抱える課題や要望等についての把握に努めました。

（３）地域ささえあい会議の充実

生活支援体制整備事業と生活困窮者支援等のための地域づくり事業共通の取り組みである地域ささえあい会議の充実では、会議の運営支援や会議の方向性について、校区社協と地域包括支援センターに配置される第２層生活支援コーディネーター、市役所職員、市社協コミュニティソーシャルワーカーで事前協議を行い、地域課題の把握や課題解決に向けた取り組みについて協議を行いました。

（４）ボランティア活動、福祉教育の充実

ボランティアセンター事業では、市民のボランティアに関する啓発やボランティアとボランティアを求めている人とのマッチングを行いました。

また、ボランティア活動に対する啓発と日頃のボランティア活動を広く市民に周知することを目的とした「いとしま Fun2024」を開催し、ボランティア相互の交流をはじめ、ボランティア意識の向上や活性化を図りました。

福祉教育の推進では、小・中学校からの依頼を受けて学校のニーズに応じたプログラムを実施しました。

また、子どもたちがボランティア活動の大切さを楽しみながら学ぶことのできる福祉教育プログラムの作成に関する協議を行い、令和７年度の完成を目指します。

（５）重層的支援体制整備事業の推進

重層的支援体制整備事業では、多機関協働事業で複合化・複雑化した課題を抱える世帯への相談支援を実施し、相談支援機関との連携による相談者に寄り添った支援の充実に取り組みました。

また、支援者への支援の取り組みでは、支援者同士の顔の見える関係性作りや相談に対し複合的に対応する意識づくりに努めました。

多機関協働事業や参加支援事業、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業の推進については、基幹型地域包括支援センター、障がい者相談支援センター等と連携し、重層的支援会議に参画して情報の共有に努めました。

また、重層事業に係わる関係者に対し、事業をわかりやすく解説したパンフレットを作成し広く周知を図りました。

ふれあい生きいきサロンの推進では、高齢者の閉じこもりや生きがいづくり等に特化した運営に限らず、地域の中の子育て中の親子や障がいのある人で社会参加の機会が少ない方なども、参加できるサロン運営の推進に努めました。

（６）権利擁護事業の充実

権利擁護事業の充実では、令和６年度から設置した「糸島市成年後見センター」利用促進のための周知を図るとともに、職員のスキルアップを図る研修等に積極的に参加し、適切な後見人支援が行えるよう努めました。

日常生活自立支援事業及び法人後見事業では、市民後見人養成研修修了者による市民支援員の活動において安定した支援が実施できました。今後も利用者の増加につながる取り組みや体制の充実に向けた整備を図ります。

（７）安定した介護保険事業等の運営

介護保険事業等では、虐待防止・身体拘束適正化検討委員会により、虐待や身体拘束等の防止について認識を深めるとともに、介護職員の研修会を積極的に開催し虐待等に関する意識の向上を図りました。また、利用者及び家族への周知を図り、安心して利用していただける施設環境づくりに努めました。

通所介護事業及び訪問介護事業全般において、介護職員の人材不足は、利用者の安全・安心の事業所運営を行う上において深刻な状況です。今後もハローワークや求人広告媒体での職員募集を行いながら、安定した事業所運営に職員全体で取り組みます。

（８）財政運営の適正化

令和６年度の一般会計資金収支決算は、事業活動による収入８億４,７６６万円、事業活動による支出８億５,７５６万円で、事業活動資金収支差額マイナス９９０万円となり、施設整備等による資金収支差額はマイナス１２８万円と全国社協の退職積立金の支出５０万を差し引いた当期資金収支差額はマイナス１,１６８万円でした。

収入に関しては、前年度決算比で２２４万円増収し、支出では、前年度決算比で５,２８８万円増加しました。

マイナス決算となった主な要因として、次年度退職予定者を見込んだ介護人材確保のために、総合職１名の採用、一般職６名を採用した他、総合職への転換を２名、パート職員の常勤雇用など人件費の増額が挙げられます。また、介護保険事業の利用者数が依然コロナ禍前の状況に戻っていない他、障がい福祉サービス事業の放課後等デイサービスでは、報酬改定による減額が大きくなりました。

加えて、最低賃金の引き上げやエネルギー価格の高騰、給食費、業務委託費、保守料の高騰なども深刻な影響を受けています。今後、利用者増の努力はもとより事業所ごとの分析による改善策の取り組みを行っていくことにしていますが、依然厳しい状況が続くものと予想されます。

（９）発展強化計画の策定・推進

令和５年６月に策定した糸島市社会福祉協議会第１次発展強化計画（令和５年度～令和７年度）にある２４の実施項目の評価指標達成に向けて取り組み、情報化推進の給与明細のペーパーレス、職員間の情報共有グループウェアサイボウズの導入、職員全体研修などを実施しました。

また、見やすくわかりやすい社会活動の情報発信の取り組みとしてホームページ

のリニューアルに着手し、基本構成等を検討し、令和 7 年度に詳細デザイン部分の完成を目指しています。

実施項目によっては、取り組みができていないものや変更しなければいけないものなど、最終年に向けた課題の抽出やタイムスケジュールの再確認を行いました。

(10) 災害支援対策

多発する自然災害等により、本市において甚大な被害が発生した場合を想定した災害ボランティアセンターの設置運営訓練を福岡県社協、糸島市、糸島青年会議所、糸島ライオンズクラブ等の協力を得て実施しました。

今後も予測が困難な自然災害に備え、平時からの災害ボランティアセンターの設置・運営に向けた取り組みの強化を図りながら、災害発生時に迅速かつ適切な支援等が行えるよう災害ボランティアセンター運営マニュアルの見直しや石川県をはじめ、現在でも被災地支援に携わる被災地の災害ボランティアセンターの取り組み等について情報の収集・研究に努めます。

2. 法人関係

(1) 理事会・評議員会の開催 理事会 3 回 評議員会 3 回 監査 1 回

【理 事 会】(定数 11 人)

開催日	出席	議案事項
第 1 回理事会 6 月 11 日	8 人 監事 2 人	1 令和 5 年度事業報告について 2 令和 5 年度決算及び監査報告について 3 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について 4 糸島市社会福祉協議会ホームヘルプステーション運営規程等の一部改正について 5 令和 6 年度定時評議員会の日時・場所及び議題等について
第 2 回理事会 12 月 19 日	10 人 監事 2 人	6 令和 6 年度 第 1 次補正予算について 7 糸島市社会福祉協議会デイサービスセンターそれいゆ運営規程等の一部改正について 8 令和 6 年度第 2 回評議員会の日時・場所及び議題等について
第 3 回理事会 3 月 13 日	11 人 監事 1 人	9 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会総合職職員の給与に関する規程の一部改正について 10 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会一般職職員の給与に関する規程の一部改正について 11 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規程の一部改正について 12 糸島市社会福祉協議会二丈ヘルプステーション運営規程等の一部改正について 13 令和 7 年度 事業計画について 14 令和 7 年度 資金収支予算について 15 令和 6 年度第 3 回評議員会の日時・場所及び議題等について 16 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会苦情解決第三者委員の選任について

【監 査】(定数 2 人)

開催日	出席	議案事項
5 月 29 日	2 人	決算監査 令和 5 年度事業及び会計状況の監査

【評議員会】(定数 21 人)

開催日	出席	議案事項
第 1 回評議員会 (定時評議員会) 6 月 26 日	19 人 監事 1 人	1 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会令和 5 年度事業報告について 2 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会令和 5 年度決算及び監査報告について
第 2 回評議員会 1 月 12 日	21 人	3 令和 6 年度第 1 次補正予算について
第 3 回評議員会 3 月 21 日	17 人	4 令和 7 年度事業計画について 5 資金収支予算について

(2) 会費

行政区を通じ、市民の皆さんに協力をいただく一般会費（ささえあい費）と行政区長や民生委員児童委員協議会、市役所職員、市社協役職員などに協力いただく賛助会費、団体等に協力いただく特別会費です。

自主財源確保のため、「社会福祉法人への寄付金の税額控除制度」の対象法人として、糸島市から税額控除対象法人証明を受けています。

・会費収入 2,858,859 円（参考：令和 5 年度 3,012,451 円）

- ① 一般（地域ささえあい費）22,708 口 2,270,859 円 ② 賛助会費 568 口 568,000 円
③ 特別会費 4 口 20,000 円

参考

（一般 100 円 賛助 1,000 円 特別 5,000 円）

区 分	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
一般（ささえあい費）	2,380,732 円	2,404,145 円	2,348,451 円	2,270,859 円
賛助会費	698,000 円	703,000 円	644,000 円	568,000 円
特別会費	30,000 円	30,000 円	20,000 円	20,000 円
合計	3,108,732 円	3,137,145 円	3,012,451 円	2,858,859 円

(3) 寄付金

寄付金については、香典返し等の減少により厳しい状況が続いている。寄付金増収のために、会費同様に「社会福祉法人への寄付金の税額控除制度」の対象法人として、糸島市から税額控除対象法人証明を受けています。

・寄付金収入 84 件：2,205,796 円

【内訳】

香典返し 70 件：1,760,200 円

一般寄付 14 件： 445,596 円

参考

区 分	令和 3 年度		令和 4 年度※		令和 5 年度		令和 6 年度	
香典返し	62 件	62 件	63 件	1,800,000 円	76 件	1,974,500 円	70 件	1,760,200 円
一般寄付	31 件	31 件	28 件	8,209,252 円	16 件	329,259 円	14 件	445,596 円
合計	93 件	93 件	91 件	10,009,252 円	92 件	2,303,759 円	92 件	2,205,796 円

※令和 4 年度一般寄付には遺贈寄付（7,274,659 円）を含みます。

(4) 会議及び社協職員研修

- ・課長会議 23 回開催 原則毎月 2 回開催
- ・衛生委員会 12 回開催 原則毎月開催
- ・人権学習 3 回開催
- ・職員研修会 2 回開催「地域福祉活動におけるファンドレイジング」
1 回目 10 月 5 日 2 回目 2 月 5 日
- ・苦情解決第三者委員会 1 回開催
第三者への苦情相談件数 0 件
会議：令和 7 年 2 月 14 日
内容：各事業所からの重大ヒヤリハット報告

(5) 災害支援対策

- ・災害ボランティアセンター設置運営訓練
開催日 5 月 24 日開催
参加者：糸島青年会議所、ライオンズクラブ、防災士会「てまがえ隊」、市民防災士、市地域福祉課・危機管理課、県社協、市社協 計 63 人
- ・災害ボランティア連絡会
開催日 5 月 24 日開催
参加者：糸島青年会議所、市地域福祉課・危機管理課、県社協、市社協、計 15 人

3. 住民参加による小地域福祉活動事業

(1) 校区社会福祉協議会の活動助成と連携

校区名	主な事業内容
波多江	地域ささえあい会議、広報委員会合同研修会（民生委員児童委員・福祉委員）、理事研修会（視察）、広報「福祉の窓」発行（年 3 回）ママといたずらキッズ（子育て支援：年 7 回）、ふれあい事業（ひとり暮らし高齢者の集い）、校区サロン、ふれあい事業（お茶・ごみ袋・餅など配布による見守り年 4 回）
東 風	地域ささえあい会議、理事研修、視察研修、民生委員児童委員・福祉委員会（年 3 回）、広報「福祉の羽衣」発行（年 3 回）、はるかぜキッズ（子育て支援：年 7 回）、ふれあいの集い、70 歳以上単身高齢者訪問（年 3 回）、75 歳以上高齢者世帯訪問（年 3 回）、校区文化祭、九大留学生との交流会
前 原	地域ささえあい会議、先進地視察、民生委員児童委員・福祉委員合同会議（年 2 回）、校区社協研修会、講演会、小地域福祉活動研修会、校区社協だより発行（年 3 回）、すまいる広場（子育て支援：年 12 回）、前原ふれ愛の会（ひとり暮らし高齢者の集い）、高齢者世帯訪問（高齢者見守り事業）、ひとり暮らし高齢者見守り事業（ごみ袋配布：年 2 回）、サロン選抜対抗ダーツ大会
前原南	地域ささえあい会議、研修会、視察研修、広報「南天」発行（年 3 回）、75 歳以上一人暮らし高齢者定期巡回（年 12 回）、定期訪問（情報チラシ配布：年 2 回）、ふれあい事業（地域交流支援：各行政区ごと）ちびっこみなみ（子育て支援：年 12 回）、福祉講演会、福祉団体との交流会、福祉餅つき、みなみフェス、小学校との交流、可也校区社協との交流、福祉賛助会への寄付の依頼・お礼

南 風	地域ささえあい会議、福祉研修会、新旧福祉委員・民生児童委員合同会議、広報紙発行（年3回）、高齢者訪問（75歳以上対象）、ふれあい訪問（75歳以上一人暮らし対象・年2回）、歳末見守り訪問（70歳以上一人暮らし対象）、助成団体代表者会議、助成団体交流会（モルック大会）、助成団体訪問、PTAとの交流会（ダーツ）、ふれあいバス旅行（70歳以上の高齢者）、笑顔写真撮影会、南風寄席、子育て支援活動、ひまわりキッチン
加布里	地域ささえあい会議、校区民児協会議（年5回）、民生児童委員・福祉委員合同会議（年2回）、福祉委員会議（年4回）、社協だより「道しるべ」発行（年4回）、校区役員・部会長会議（年2回）、ふれあい訪問高齢者見守り活動（70歳以上一人暮らし高齢者、75歳以上の夫婦世帯：生活用品、清涼飲料水、うどん 年4回）単身高齢者の集い（70歳以上）、子どもふれあい教室（年5回）、小地域ネットワーク交流会、福祉団体の活動支援 シニアクラブ連合会との懇談会、障がい者福祉部会による交流
長 系	地域ささえあい会議、校区社協だより発行（年3回）、長期療養中高齢者訪問（お見舞い）、85歳以上高齢者訪問（花鉢）、一人暮らし高齢者訪問（生活必需品、温湿時計、弁当、手紙 年4回）、研修座談会（民生委員・福祉委員・福祉協力員）、校区社協30周年記念行事、安心ネット研修会（民生委員・区長・福祉委員）、安心ネット長系、安心ネット情報交換会、長系小訪問、地域カフェ「みらい」、自主運行バス、移動スーパーいと丸くん、助成事業
雷 山	地域ささえあい会議、社協だより発行（年3回）、広報委員会、五者会議、民生委員・福祉委員合同会議（年2回）、にこにこ広場（子育て支援：年2回）、介護予防講習会、健康講話にじの会愛のふれあい配付活動（年3回）、単身高齢者の集い「にじの会集い」、ふれあい訪問活動月間（一人暮らし・二人暮らし高齢者・心配家庭等訪問）、小学校との連携（認知症サポーター講座）、男性料理教室、施設訪問、視察研修、他校区との交流会、米寿のお祝い
怡 土	地域ささえあい会議（年3回）、社協だより「ぬくもり」発行（年3回）、やよい活動（高齢者訪問：年3回）、いとキッズ（子育て支援：月2回）、福祉委員会（年3回）、地域福祉研修会（視察研修【テーマ】：助け上手 助けられ上手の地域づくり）、地域ささえあいサポーターと校区社協の交流会、怡土小・前原東中学学習参観と懇談会、怡土ふれあいの会 ひとり暮らしの集い（茶話会）、いきいきサロン活動交流会と研究会、地元市議との懇談会
一貴山	地域ささえあい会議、子育て支援事業、民生委員児童委員・福祉委員交流会、先進地視察研修会、社協だより発行（年3回）、ふれあい事業（弁当配布：年2回）、見守り事業（お菓子・ごみ袋・お茶：年2回）、いきいき一貴山お楽しみ会・ふれあい会（75歳以上高齢者）、サロン代表者交流会、男性料理教室
深 江	地域ささえあい会議、広報「ほっとタイム深江」（年3回）、高齢者見守り活動（70歳以上一人暮らし高齢者、75歳以上のみ世帯：年4回）、ひとり暮らし高齢者お楽しみ会（75歳以上）、民生委員・福祉委員交流会、視察研修、高齢者講座（卓球バレー大会）、グラウンドゴルフ大会、バスハイク、あったかコンサート
福 吉	地域ささえあい会議、社協だより発行（年3回）、理事・福祉委員交流会、視察研修、高齢者お楽しみ会（70歳以上一人暮らし・77歳以上二人世帯）、見守り活動（70歳以上一人暮らし高齢者：年3回）、グラウンドゴルフ大会（年2回）、高齢者講座、ふれあい交流事業（高齢者と子ども）ふれあいコンサート、移動動物園
可 也	地域ささえあい会議、広報紙発行（年3回）、民協・福祉委員交流会（年2回）、見守り活動物品等配付（年3回）、熱中症対策物品配布・見守り活動、福祉委員研修会、可也小あいさつ標語依頼、子育て支援、他校区社協交流会
桜 野	地域ささえあい会議、広報紙「愛・さくらの」発行（年4回）、一人暮らし高齢者見守り配布活動、愛のしあわせ事業（年3回）、楽しく健康づくり事業、異文化交流餅つき大会、高齢者元気ふれあい事業「桜野校区芸能・のど自慢大会」、ひとり暮らし高齢者の集い事業、交流会（校区社協役員・福祉委員・ボランティアサークル代表）、校区文化祭、安全安心見守り事業、サロン補助事業、子育て支援事業、スタッフ講習会
引 津	地域ささえあい会議、校区社協だより発行（年3回）、一人暮らし高齢者見守り訪問（年3回）、視察研修、おたのしみ会（一人暮らし高齢者の集い）、一人暮らし高齢者への年賀状送付、ゴキブリ団子づくり及び一人暮らし高齢者への配布（引津小との連携事業）、チャイルド広場

(2) 校区社会福祉協議会会長・事務局長会議の開催

- ・会長・事務局長会議

第1回開催日 6月14日

第2回開催日 2月28日

- ・事務局長会議

第1回開催日 1月31日

(3) 小地域ネットワーク福祉会の活動支援と連携

- ・小地域ネットワーク福祉会 17団体

①松隈福祉会 ②初福祉会 ③師吉団地福祉会 ④大石福祉会 ⑤稲葉福祉会
⑥師吉福祉会 ⑦大町福祉会 ⑧芥屋福祉会 ⑨神在三区福祉会 ⑩老松町福祉会
⑪池田南福祉会 ⑫白浜町福祉会 ⑬南風台6・7丁目福祉会 ⑭瑞梅寺福祉会
⑮井原福祉会 ⑯末永福祉会 ⑰田中福祉会

- ・小地域ネットワーク福祉会連絡会議 開催日 3月19日

福祉会の活動の報告や活動について、各福祉会より報告をいただき、情報共有を行うことで有意義な意見交換の場となりました。

(4) 見守り台帳の整備と支援態勢づくり

見守り台帳の取り組みでは、平常時における要援護者への見守り及び集中豪雨や地震などの自然災害発生時の見守り支援態勢づくりの構築を推進しました。

新規調査対象者 325 人に校区社協を通じて聞き取り調査を実施した結果、153 人が新規登録された。年度末登録者の合計は 6,949 人となりました。

校区別対象者集計（令和7年3月末現在）

校区名	独居高齢者	高齢者のみ	同居高齢者	障がい者	その他	計
波多江	202 人	253 人	64 人	53 人	0 人	572 人
東風	121 人	200 人	50 人	21 人	0 人	392 人
前原	235 人	416 人	66 人	70 人	0 人	787 人
前原南	179 人	190 人	41 人	41 人	0 人	451 人
南風	62 人	174 人	36 人	33 人	0 人	305 人
加布里	202 人	321 人	89 人	46 人	0 人	658 人
長糸	52 人	106 人	20 人	20 人	0 人	198 人
雷山	65 人	155 人	31 人	21 人	1 人	273 人
怡土	185 人	460 人	97 人	48 人	1 人	791 人

一貴山	108人	162人	63人	24人	0人	357人
深江	195人	295人	106人	34人	0人	630人
福吉	109人	229人	52人	26人	1人	417人
可也	187人	227人	87人	55人	1人	557人
桜野	55人	55人	38人	19人	0人	167人
引津	117人	136人	99人	42人	0人	394人
計	2,074人	3,379人	939人	553人	4人	6,949人

(5) 福祉委員への支援

民生委員児童委員と連携し、地域福祉の推進役として各行政区に福祉委員を設置。

164 行政区 181 人に委嘱した。(設置率 100%)

- ・福祉委員委嘱状交付式及び研修会 開催日 4月25日

内容 委嘱状交付、福祉委員活動及びボランティア活動保険について説明

参加者 155人

(6) 糸島市民生委員児童委員へ支援

民生委員児童委員の活動に関する相談支援を実施しました。また、民生委員児童委員協議会の運営に関して事務局として支援を実施しました。

- ・役員会並びに定例会の開催

[役員会] 年 6回 偶数月第1金曜日

[定例会] 前原地区 年12回 毎月 第3週の水曜日

二丈地区 年12回 毎月 第3週木曜日

志摩地区 年12回 毎月 第3週水曜日

- ・各地区研修会の開催

◎前原地区

開催日	参加人数	講師	研修内容
7月24日	97人	グループワーク	少人数のグループに分かれ、相談支援機関職員と共に事例検討を実施
9月18日	93人	地域包括支援センター (前原東、前原西、前原)	包括と民生委員の連携について

◎二丈地区

開催日	参加人数	講師	研修内容
6月20日	33人	糸島保健所	精神障がい正しい理解について
9月19日	29人	視察研修	福岡少年院施設見学
10月17日	33人	糸島市役所 危機管理課	防災講座

◎志摩地区

開催日	参加人数	講師	研修内容
5月15日	35人	糸島保健所、糸島市障がい者 相談支援センターあごら	精神障害の正しい理解について
6月26日	31人	視察研修	福岡少年院施設見学

(7) 社協出前講座（糸島市出前講座）への職員派遣

市役所の生涯学習情報誌に掲載している出前講座へ職員を派遣しました。

	派遣日	派遣先	内容
1	6月25日	糸島市立加布里小学校	No.5 福祉教育
2	7月3日	糸島市立桜野小学校	No.5 福祉教育
3	7月10日	糸島市立前原南小学校	No.5 福祉教育
4	9月26日	糸島市立可也小学校	No.5 福祉教育
5	10月30日	糸島市立南風小学校	No.5 福祉教育
6	11月19日	糸島市立志摩中学校	No.5 福祉教育
7	12月5日	糸島市立波多江小学校	No.5 福祉教育
8	1月28日	糸島市立東風小学校	No.5 福祉教育

[講座メニュー]

- No.1 地域福祉ってなあに？ No.2 地域の福祉力を高める住民講座
 No.3 ご存知ですか？あなたのまちの民生委員・児童委員 No.4 家庭介護教室
 No.5 福祉教育 No.6 社会貢献教育「寄付の教室」
 No.7 社会貢献教育「寄付の教室～応用～」
 No.8 地域福祉活動計画 ～糸島の地域福祉力のさらなる向上を目指して～

4. ボランティアセンター事業

ボランティア活動に関する相談、情報提供、コーディネートなど個別の活動支援を行うとともに、ボランティア講座の企画運営については、市社協ボランティア連絡協議会との共催で行いました。

No.	項 目	内 容
1	ボランティア活動支援	ボランティア活動に関する相談、情報提供、コーディネートなど活動支援 ① 令和6年度 ボランティアセンター登録者数 3,300 人 内訳 1 社協ボランティア連絡協議会会員 486 人 2 その他団体・個人 136 団体・個人 2,814 人 （※ボランティア活動保険の実績数換算による） ②ボランティア活動に関する対応件数、247 件（※地域づくり事業の実績数より） ③フードバンク糸島 Happiness 等との連携により経済的理由で生理用品を購入することが難しい人を主な対象として、市健康福祉センターあごらにて生理用品を随時提供
2	ボランティア活動保険の助成	① 令和6年度保険全額助成 32 団体・個人 730 人 （内訳） ボランティア連絡協議会団体 486 人 ボランティアセンター個人登録者 20 人 福祉委員会 181 人、糸島青年会議所 43 人
3	ボランティア団体への助成	①ボラ連団体助成（上限3万円） 28 団体 840,000 円 ・地域福祉の推進のためのボランティア団体運営経費を助成 ②団体強化助成（上限5万円） 4 団体 69,635 円 ・団体の活動に必要な備品や消耗品を上限5万円まで助成 対象団体：産前産後ヘルパーかるがも、いとのか、布絵本の会こびとのくつや、回想法ボランティアつんのて、 ③事業助成（上限5万円） 2 団体 56,500 円 ・研修会・講演会等市民向けの事業の開催費、または調査・研究事業の実費を上限5万円まで助成 対象団体：産前産後ヘルパーかるがも、手をつなぐ糸島市民のつどい実行委員会

糸島市社協ボランティア連絡協議会事業

No.	項 目	開 催 日	内 容	参加人数
1	ボラ連役員会	第1回役員会 期日：4月18日（木） 場所：あごら	① 令和6年度ボラ連代表者会について ② 来年度の役員改選について ③ 会員向け・市民向け講座について ④ 小都市ボラ連視察受け入れについて ⑤ ボラ連紹介 VTR および冊子について ⑥ 災害ボランティアについて	4 人
		第2回役員会 期日：7月12日（金） 場所：あごら	① 糸島市社会福祉大会表彰の推薦について ② いとしま Fun2024 について ③ 令和6年度ボラ連関連事業について ④ ボラ連紹介 VTR について	4 人
		第3回役員会 期日：3月18日 場所：あごら	① 令和6年度事業について ② 令和7年度事業計画について 他	4 人

2	ボラ連 代表者会	社協ボラ連代表者会 期日：5月11日（土） 場所：あごら	① 令和6年度役員紹介 ② 新規加盟団体紹介 ③ 令和6年度事業報告について ④ 令和7年度事業計画について ⑤ 遊び×学び×交流フェスいとしま Fun について ⑥ サロン訪問ボランティアについて ⑦ ボラ連の活動紹介 VTR および冊子の作成について ⑧ 部会別協議 ⑨ トークフォークダンス	22人
3	ボラ連 会員研修	ふくおか“きずな”フェスティバル 期日：2月16日（日） 場所：クローバープラザ	●基調講演 「楽しい助け合い活動！ボランティア地域活動のすすめ！～生きがい・やりがい・楽しさ・自分発見の生き方探し～」 ●分科会1「子どもたちが活躍・輝く居場所」 ●分科会2「ボランティアと学ぶ・育む福祉体験」 ●分科会3「ふくおか“ミライ”会議 ～学生のボランティア活動から考える福岡の未来～」	29人
		小郡市社協ボラ連視察受入 期日：12月16日（土） 場所：あごら	① 糸島市ボランティアセンター、糸島市社協ボラ連の紹介 ② 団体紹介（ともなう会、前原ファミリーサポートゆりかごの会、生活支援ボランティアにじょう太助、はつらつマイスターズ、ヴィオラ、ジネスボランティア、布絵本の会こびとのくつや&たけのこ文庫：実演含む） ③ 小郡市ボラ連の紹介 ④ 意見交換	台風の 為中止
4	いとしま Fun 2024	テーマ：「100%笑顔。世代を超えて…いとしまの“わ”」 期日：11月23日（土） 場所：あごら	遊び×学び×交流フェスとして、地域住民やボランティアなど様々な人たちで「地域共生社会」の実現を目指し、糸島市のボランティア・福祉活動を知ってもらうことを目的に開催	1,400人

糸島市社協ボランティアセンター事業

No.	項 目	開 催 日	内 容	人数
1	市民向け講座	と き むかしのことを話す時間 ～昭和 20 年代の思い出を語ろう～ 5月2日（木） 6月19日（水） セラピューティック・ケア ボランティア養成講座 6月1日（土）	○第1部 「昭和 20 年代を思い出そう」 写真や音声にふれた後、90 代の女性の話をみんなで聞く。 ○第2部 「昭和 20 年代の思い出を語ろう」 思い出を話す人、聞く人で 1 対 1 になり、時間を区切って相手を交替しながら複数の方と話す。 （5/2（木）10名 6/19（水）7名） ふれあい生きいきサロンなどでセラピューティック・ケアのボランティア活動を行うことのできる人材を育成することを目的とし、養成講座を開催。あわせて、すでに活動中の団体へのスキルアップを目的とした講座も実施。（養成講座14名、フォローアップ研修23名）	54人

2	福祉教育	ふくし体験スクール 期日：7月25日(木)～7月26日(金)	小学5、6年生を対象に福祉の心を育むために開催。 〈内容〉 手話学習会、介助犬についての学習、福岡市民防災センター（VR（火災）体験、煙避難体験、水消火器消火訓練、地震体験）	36人
		① 6月25日(火) 加布里小学校4年生(67人) ② 7月3日(水) 桜野小学校4年生(21人) ③ 7月10日(水) 前原南小学校5年生(152人) ④ 9月26日(木) 可也小学校5年生(107人) ⑤ 10月30日(水) 南風小学校4年生(81人) ⑥ 11月19日(火) 志摩中学校1年生(19人) ⑦ 12月5日(木) 波多江小学校4年生(132人) ⑧ 1月28日(火) 東風小学校3年生(122人)	① アイマスク・車いす体験 ② 車いすユーザーの講話、アイマスク・車いす体験 ③ アイマスク・車いす体験 ④ 社協とは ⑤ アイマスク（ソフトバレー、水、介助方法）・車いす体験 ⑥ 高齢者・子ども・災害に関する福祉について ⑦ アイマスク（ソフトバレー、水、介助方法）・車いす体験 ⑧ アイマスク（ソフトバレー、水、介助方法）・車いす体験	701人

5. 高齢者福祉事業

(1) 家族会（在宅介護者の会）活動支援

在宅で介護をされている方とその家族等が集い、情報交換や悩みを語るにより心理的、身体的なストレスの軽減を図ることを目的に組織化。各地区の家族会で学習会や意見交換会、バスハイクを実施しました。

- ・3地区合同学習会 7月11日

内容：成年後見センターについて

- ・3地区合同交流会 12月12日

場所：鳴神温泉「なの湯」

- ・「癒しの会」（前原地区） 活動日／2カ月に1回 場所／あごら
- ・「楽笑」（二丈地区） 活動日／3カ月に1回 場所／二丈苑
- ・「あすなろの会」（志摩地区） 活動日／毎月第3木曜日に開催 場所／ふれあい

(2) 糸島市シニアクラブ連合会への活動支援及び助成

グラウンドゴルフ・パタンク大会の開催支援

開催日 10月15日

場所 糸島市運動公園

団体運営に関する活動助成

6. 障がい児(者)福祉事業

(1) 「知的・発達・精神障がい入門講座～知ることから始める関わり方～」

開催日 令和7年3月8日(土)

会場 糸島市健康福祉センターあごら 視聴覚室

講師 株式会社平栄障がい者しごと支援センター木の実 総合施設長 三善 史博氏

参加者数 62人

内容 障害についての理解やボランティア活動への関心を高めることを目的として実施。講演を通して、障がいとは何かを改めて考えるきっかけづくりや社会モデル等の周知・啓発を行いました。

① 講演、質疑応答

② 地域づくり事業や福祉教育の紹介及び各事業ボランティアの募集

(2) 共同作業所への活動助成(歳末たすけあい募金)

NPO法人いとしま工芸、NPO法人みらいへの活動助成

(3) 身体障害者福祉協会への活動支援及び助成

団体運営に関する活動助成

(4) 糸島市臨床動作法研究会親の会(レインボーサークル)への活動助成

団体運営に関する活動助成

(5) 糸島市精神障がい者家族会“いとしま会”への活動支援及び助成

団体運営に関する活動助成

(6) 手をつなぐ親の会への活動支援及び助成

団体運営に関する活動助成

(7) 糸島市聴覚障害者協会への活動支援及び助成

団体運営に関する活動助成

7. 児童・青少年・ひとり親家庭の福祉事業

(1) 福祉教育教材「ともに生きる」配布

配布対象 市内 16 小学校の小学3年生へ 1,200 冊配布

(2) 児童公園への遊具設置事業（遊具保険のみ）

撤去修繕の実績なし

(3) ひとり親家庭交流事業の開催

ひとり親家庭を対象に親子のふれあいや思い出作り、児童の健全育成のため、親子バスハイクを交流事業として実施

開催日 8月4日（日）

場所 到津の森公園（福岡県北九州市小倉北区上到津 4-1-8）

参加者 21 世帯（子ども 29 人 保護者 24 人）、母子会 3 人、社協職員 8 人
計 64 人

(4) 母子等寡婦福祉会への活動支援及び助成

団体運営に関する活動助成

(5) 子ども支援団体の活動支援

・子ども支援団体連絡会議

食や居場所で子ども支援を行う団体の情報共有のための会議を実施。また、会議に参加する団体に対し、NPO や企業、個人からの食品の寄付について連絡調整を行いました。

子ども支援団体連絡会議

第1回開催日 6月20日

第2回開催日 2月18日

8. 総合的な福祉事業

(1) 広報紙市社協だより「みんなのふくし」の発行（全戸配布）

年間4回の発行、78号から81号の発行（4月、7月、10月、2月）

(2) 共同募金運動の推進（目標額 1,530万円）

福岡県の目標額は、昨年実績の直近額に設定され、達成率は 95.2%で昨年度の実績を下回りました。（参考：昨年度達成率 97%）

赤い羽根共同募金総実績額 14,567,519 円

【内訳】

区 分 内 容	金 額
戸別募金（行政区ごとに協力依頼）	11,134,106 円
職域募金（バッジ・タイピン募金）	1,150,437 円
事業所募金（市内の法人企業・個人店に協力依頼）	1,225,462 円
その他（自動販売機、個人、街頭募金・募金箱、利息など）	1,057,514 円

（参考：令和 5 年度 14,845,167 円）

（３）糸島市社会福祉大会

第 12 回目を迎える本大会は、福祉活動を推進する様々な団体や地域住民が一堂に会し、社会福祉の充実発展に功労のあった団体の表彰や講演を行い、社会福祉進展のための啓発を行いました。

大会テーマ 「災害につながる日頃の地域福祉活動の大切さ」

開催日 9月 28 日

場所 伊都文化会館 多目的ルーム

参加者 180 人

内 容 表彰及び優秀賞受賞団体の活動発表、講演

受賞者 優秀賞：「フードバンク糸島 Happiness」「九州大学 BBS 会」

功労賞：「糸島市身体障害者福祉協会」「東風校区社会福祉協議会」

「通いの場かむり」「北新地ほがらかサロン」「かぶりん食堂」

「よかところ通い場」「南風校区多久川の自然環境を守る会」

講 演 「災害につながる日頃の地域福祉活動の大切さ」

講 師 NPO 法人 つなぎ te おおむた 代表 彌永 恵理 氏

9. 相談支援（援護活動）事業

（１）法律・心配ごと相談

◆法律・心配ごと相談所の開設（あごら）毎週火曜日、延べ 40 回実施/相談件数 181 件

相 談 員（延べ）弁護士 40 人、民生児童委員 32 人（各校区民児協から選出）

相談内容（181 件）

（参考：令和 5 年度 238 件） 単位：件

生計	5	年金	1	職業・生業	3	住宅	18	家族	14	結婚	1
離婚	14	健康衛生	0	医療	1	精神衛生	0	金銭・法律	29	財産	52
事故	4	児童・母子	0	教育青少年	1	心身障害者	0	母子・父子	1	老人福祉	0
苦情	3	その他	34								

処理内容（181 件）

単位：件

解決	126	再来相談	24	他機関を紹介	19	その他	12
----	-----	------	----	--------	----	-----	----

(2) 生活福祉資金等相談件数 (生活福祉資金及び福祉金庫)

生活困窮者自立支援制度の施行にともない、貸付制度においても、より効果的に低所得世帯等の自立支援を図るために、生活困窮者自立支援制度と連携した貸付を行うこととしています。

・相談件数の推移(初回相談の件数)

令和4年度 190件

令和5年度 234件

令和6年度 377件 ※コロナ特例貸付の償還相談が増加

・生活福祉資金の貸付状況

福祉資金	福祉費	6件	4,047千円
------	-----	----	---------

緊急小口資金		22件	1,738千円
--------	--	-----	---------

教育支援資金	教育支援費	24件	20,409千円
--------	-------	-----	----------

就学支度費		21件	6,929千円
-------	--	-----	---------

計		73件	33,123千円
---	--	-----	----------

(令和6年度)		93件	48,618千円)
---------	--	-----	-----------

・特例貸付借受人への相談業務

償還免除や償還猶予の申請手続きの支援、訪問等のアウトリーチによる生活再建に向けた支援を行っています。

また、県社協の償還に対しての未応答者357人に、市社協で継続的に相談支援が出来る旨の通知を送付。なお未応答者に関して県社協が自宅訪問を実施した中の130件に対して同行訪問を実施しました。

相談件数の推移

令和4年度 63件

令和5年度 71件

令和6年度 87件

・福祉金庫の貸付件数

生活困窮者自立支援機関である総合相談窓口と連携し、経済的自立の助成と生活意欲の向上を図ることを目的とし緊急を要する貸付を実施しました。

77件 1,405千円 (令和6年度 60件 1,151千円)

10. 受託事業

(1) 日常生活自立支援(権利擁護)事業(福岡県社協委託事業)

認知症や知的障がいのある人等で判断能力が低下した方を対象に、福祉サービス援助や日常的な金銭管理を実施しました。利用者は生活困窮世帯などの困難事例も多く、地域包括支援センターや市役所地域福祉課、福祉保護課と連携した対応に努めました。

① 福祉サービス利用援助、日常的な金銭管理サービス

利用件数25件 内訳/高齢者13件・障がい者12件(知的・精神)

(継続32件・新規1件・廃止8件)

② 安心あずかりサービス事業（独自事業）

利用件数 3件 内訳／高齢者1件・障がい者2件（知的・精神）
（継続4件・新規4件・廃止5件）

（2）市健康福祉センター「あごら」「ふれあい」、市高齢者福祉施設「二丈苑」の管理・運営（指定管理者）

・糸島市健康福祉センター「あごら」利用者数 延べ57,681人（令和5年度66,976人）

単位：人

会場名	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
視聴覚室		580	704	835	771	840	472	524	447	601	928	995	181	7,878
トレーニング団体		295	252	348	233	302	271	276	324	321	282	360	361	3,625
トレーニング個人		140	129	224	223	179	200	157	147	167	166	203	255	2,190
トレーニング個人		616	612	699	660	633	640	701	644	572	635	702	759	7,873
調理実習室		92	184	133	92	91	142	193	184	340	231	94	149	1,905
栄養指導室		242	221	281	236	225	232	251	299	175	234	206	323	2,925
研修室1		168	202	328	250	178	182	158	138	208	182	235	219	2,448
研修室2		269	268	307	188	228	230	193	226	281	297	274	301	3,062
教養娯楽室1		118	123	131	71	16	69	74	86	157	212	158	255	1,470
教養娯楽室2		101	90	133	87	17	72	55	130	152	199	110	257	1,403
ふれあい交流室1		168	136	390	167	224	306	261	250	475	490	248	663	3,778
ふれあい交流室2		114	94	234	247	153	172	219	245	402	369	206	606	3,061
ゲートボール場1		0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	10	0	20
ゲートボール場2		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
軽グラウンド		1,418	1,520	1,444	1,074	848	0	0	0	0	0	0	0	6,104
陶芸室		200	233	297	352	243	285	398	266	362	261	283	294	3,484
図書室		247	426	774	484	650	847	613	682	418	656	504	174	6,455
計		4,768	5,194	6,588	5,135	4,627	4,120	4,073	4,028	4,631	5,142	4,598	4,797	57,681

*軽グラウンドは、駐車場整備工事のため、令和6年9月～令和7年3月まで利用を制限しました。

・糸島市健康福祉センター「ふれあい」利用者数 延べ35,220人（令和5年度30,294人）

単位：人

会場名	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
健診・研修室		219	453	493	850	151	497	536	578	741	646	706	252	6,122
ふれあい交流室		390	180	251	294	296	206	498	299	551	517	346	731	4,559
和室1・2		89	127	81	93	165	81	113	136	115	63	74	94	1,231
和室3		65	79	69	81	155	29	32	117	63	75	25	94	884
趣味の部屋		433	365	382	361	347	308	298	283	304	295	296	333	4,005
陶芸室		46	50	49	51	52	48	51	56	56	58	52	55	624
浴室		882	997	885	766	394	565	801	928	1,175	1,362	1,412	1,419	11,588
ヘルストロン		234	242	208	284	246	325	300	272	283	248	273	316	3,231
テニスコート		276	256	267	273	192	261	285	212	229	245	202	280	2,978
総計		2,634	2,749	2,685	3,053	1,998	2,320	2,914	2,881	3,517	3,509	3,386	3,574	35,220

・糸島市高齢者福祉施設「二丈苑」利用者数 延べ4,429人（令和5年度4,149人）

単位：人

会場名	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大研修室		408	334	316	291	136	269	356	274	257	319	291	267	3,518
小研修室		99	75	48	75	41	46	92	54	55	68	53	95	801
調理室		20	23	0	3	0	0	54	0	0	10	0	0	110
合計		527	432	364	369	177	315	502	328	312	397	344	362	4,429

(3) 基幹型地域包括支援センター事業

各地域包括支援センターにおける業務・連絡調整を行うとともに事業運営に必要な情報等の共有を図り、センターの機能強化に取り組みました。また、各センターの事業計画作成にあたっては、センターとの意見交換会を市と実施し助言・指導を行いました。

また、各職員に対し介護予防プランの作成の基本やACP等の研修会の開催や処遇困難事例等への助言、同行訪問等の支援を通じ各センターの資質向上を図りました。

【相談者数】

来所	電話	訪問	その他	合計
90人	1,466人	289人	95人	1,940人

【相談者内訳】

包括支援センター	本人	家族（同居）	家族（別居）	親戚・近隣・知人	民生委員等
862人	165人	28人	74人	38人	4人
見守り協力員	行政関係者	介護支援専門員	一般事業所職員	介護サービス事業所	社会福祉サービス事業所
0人	400人	128人	12人	24人	64人
医療等従事関係者	関係者権利擁護関係者	その他	合計		
99人	40人	2人	1,940人		

【相談内容】

一般相談		虐待以外の処遇困難	
介護認定	29件	権利侵害(第三者による)	0件
介護保険サービス	26件	DV・暴力	30件
ケアマネジメント支援	6件	経済的問題	230件
総合事業サービス	1件	認知症	555件
介護相談（介護方法等）	8件	精神・知的（依存含む）	207件
障がいサービス	0件	ターミナル	0件
福祉用具	3件	近隣トラブル、苦情	20件
住宅改修	4件	介入・サービス拒否	68件
施設入退所	42件	その他	83件
医療機関入退院	92件	その他	
救急・搬送・移送	5件	ケアマネ支援	8件
在宅医療	9件	見守り支援	247件
認知症（処遇困難以外）	15件	連絡・引継ぎ	224件
介護離職防止	5件	その他	32件
権利擁護		合 計	2,605件
虐待関係	389件		
成年後見	262件		
消費者被害	5件		

【虐待の内訳】

身体的虐待	経済的虐待	精神的虐待	性的虐待	介護放棄	合計
35 件	28 件	17 件	0 件	6 件	86 件

【地域ケア会議】

自立支援型	地域課題	事例検討(処遇困難)	介護予防ケアマネジメント研修	合計
26 件	26 件	2 件	8 件	62 件

【ケース会議】

虐待関係	処遇困難(虐待外)	支援会議	合計
28 件	29 件	6 件	63 件

【外部会議等】

行政主催	地域関係者主催	業務関係者主催	多職種連携	市民啓発(出前講座)
74 件	28 件	147 件	14 件	8 件
視察対応	研修会開催・運営	研修会参加	ケアプランチェック	合計
0 件	13 件	39 件	33 件	356 件

【地域包括支援センター事務局連絡会議等】

開催回数 12回 事前会議 12回

センター長会議 2回

部会会議の運営 ・保健師、看護師部会 11回 ・社会福祉士部会 12回

・主任介護支援専門員部会 11回

【介護予防ケアマネジメント研修(全体研修)の開催】

第1回研修	開催日：8月8日
	テーマ：介護予防プランの作成の基本について 講師：基幹型地域包括支援センター 主任ケアマネ 松下
	参加人数：71人 (基幹型包括・指定予防居宅・市職員含む)
第2回研修	開催日：10月10日
	テーマ：最期まで自分らしく生きるための支援を考える ～もしバナゲームを通してACPを考える～ 講師：iACP 公認もしバナマイスターの皆さん
	参加人数：37人 (基幹型包括・市職員含む)
第3回研修	開催日：1月16日
	テーマ：ケアマネ等が現場で困るカスタマーハラスメントへの心得と対応について 講師：介護老人保健施設 青風苑 事務長 青見健志 氏
	参加人数：39人 (基幹型包括・指定予防居宅・市職員含む)

【認知症初期集中支援チーム会議】

協議件数 47 件（延件数）

【市民への啓発活動】

- ・家庭介護者向け研修会
- ・認知症サポーター養成講座

【糸島地区介護保険事業者連絡会の運営支援】

糸島地区介護保険事業者連絡会の事務局として、介護事業所との連携を図り、毎月役員会（12回）や定例会（7回）の支援を行いました。

（４）障がい者相談支援事業

障がい者相談支援センターでは、障がい者の当事者や家族からの相談を受け付け課題解決に向けた支援を行いました、他の各相談窓口（志摩学園、木の実、木の実二丈センター）との連携にも取り組みました。自立支援協議会では精神専門部会の事務局を担い、「にも包括」の構築についての協議検討を行いました。

計画相談業務では、障がい支援区分認定調査事業とともに利用者の支援を行いました。

【開館日数】 243 日

【相談受付実件数】

障がい児	障がい者	不明	合 計
870 件	724 件	6 件	1,600 件

【相談対応延べ件数】

訪問相談	808 件	来所相談	134 件	同行・引率	19 件
電話・メール相談	1,145 件	関係機関	1,424 件	その他	10 件
				合計	3,540 件

【会議への参加】

糸島市自立支援協議会	1 回	糸島市自立支援協議会運営委員会	4 回
相談支援専門部会	4 回	児童専門部会	3 回
精神専門部会	4 回		

（５）移送サービス事業

在宅高齢者等を移送用車両で医療機関等へ移送するサービス。（登録車両 4 台）

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登 録	高齢者	78	80	80	81	81	82	83	83	85	86	88	88	83/月
	障害者	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47/月
	計	125	127	127	128	128	129	130	130	132	133	135	135	130/月
利 用	高齢者	13	18	10	17	15	14	13	12	12	16	15	22	177
	障害者	11	11	8	10	10	10	12	12	8	5	9	9	115
	計	24	29	18	27	25	24	25	24	20	21	24	31	292

（参考：令和5年度 386人）

(6) 配食サービス事業

調理が困難な 65 歳以上で一人暮らし等高齢者に対して、栄養のバランスのとれた食事を昼・夜に提供。3 コースで対応（志摩地区は志摩園が受託） 単位：人、食、四捨

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施 日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
実 利 用 者 数	昼	51	52	56	60	60	74	78	80	80	76	75	73	68人 /月
	夕	69	65	78	78	69	69	73	71	68	64	71	71	71人 /月
	合計	120	117	134	138	129	143	151	151	148	140	146	144	138 人/月
配 食 数	昼	943	1,062	1,081	1,120	1,070	1,146	1,235	1,244	1,249	1,173	1,039	1,206	13,568
	夕	1,508	1,578	1,655	1,706	1,565	1,348	1,452	1,474	1,379	1,279	1,345	1,517	17,806
	合計	2,451	2,640	2,736	2,826	2,635	2,494	2,687	2,718	2,628	2,452	2,384	2,723	31,374

（参考：令和 5 年度 24,019 食）

(7) ひとり親家庭等日常生活支援事業

派遣件数 4 件 内訳 ひとり親家庭 4 世帯 35 回 35 時間

（参考：令和 5 年度：18 回、18 時間）

(8) ふれあい生きいきサロン活動事業

総数 124 団体（前原地区 64、二丈地区 20、志摩地区 40）、うち新規 7 カ所

前原地区一覧

No.	サロン名	行政区
前原東圏域		
波多江校区		
1	寿サロン	高田東
2	いきいきサロン茶話野香	池田北
3	いきいきサロンはたえ	波多江
4	高田西わいわいサロン	高田西
5	池田南行政区よってきんしゃい	池田南
6	板持行政区愛・愛サロン	板持
東風校区		
7	いきいきサロン浦志	浦志東
8	志登の会	志登
9	潤南サロン	潤南
10	潤おしゃべりカフェ	潤北
怡土校区		
11	笑話会	西堂
12	曽根 より愛サロン	曽根
13	川原親和会	川原
14	王丸これからクラブ	王丸
15	サロン住吉会	井原
16	お達者クラブ	高来寺
17	大門いきいきサロン	大門
18	末永サロン加多朗カイ	末永
19	三雲いきいきサロン	三雲
20	ふれあいサロンたかす	高祖
21	ひなたぼっこ輝きサロン	瑞梅寺
22	井原なごみの会	井原
23	サロン十五日会	大門
24	井田にこにこサロン	井田
前原西圏域		
前原校区		
25	さわさわ会	浦志南
26	いきいきサロン東町	東町
27	サロンニシマチ	西町
28	ほがらかサロン	北新地
29	北本町いきいき夢サロンー九会	北本町
30	筒井町いきいきサロン	筒井町
31	サロン南本町	南本町
32	新田サロン木曜会	新田
33	浦志西いきいきサロン	浦志西
34	上町中央サロン	上町中央
35	サロン上新町	上新町
36	サロン油比の里	油比

No.	サロン名	行政区
前原西圏域		
南風校区		
37	美咲ふれあい悠々サロン	美咲が丘東
38	よりあいサロンたく	多久
39	ほっとカフェ	美咲が丘西
40	よりあい処南風台	南風台1～8
41	笑楽会	荻浦
加布里校区		
42	かみありさん元気かい	神在3
43	木曜会	神在4
44	ひだまりサロン「浜の園」	神在5
45	かむりさわやかいきいきサロン	加布里東・中・西
46	神在二生きいきサロン	神在2
47	神三モーニングカフェ	神在3
前原圏域		
前原南校区		
48	上町ゆうゆうサロン	上町
49	篠原1区ほほえみサロン	篠原1
50	ひまわりサロン	老松町
51	いきいきサロンひまわりの会	中央
52	サロン笹山	笹山
53	篠原三区さんさんサロン	篠原3
54	サロン・クローバー	篠原2
長糸校区		
55	長野 友愛の会	長野
56	川付ほっとサロン	川付
57	瀬戸サロン	瀬戸
雷山校区		
58	ポッカボカ広場	香力
59	有田ふれあい生きいきサロン	有田
60	づくぼうサロン	高上
61	いきいきサロン「福蔵」	蔵持
62	富いきいきサロン	富
63	よかとこサロン	有田中央
64	ホープ	有田団地

二丈地区一覧

No.	団体名	行政区
一貴山校区		
1	いきいき武サロン	武
2	松園いきいきサロン	松園
3	いきいきサロン長石	長石
4	ハローサロン	波呂
5	いきいきサロン一貴山	一貴山
6	ふれあいサロン いきいき田中	田中
深江校区		
7	やよい野ふれあいサロン	やよい野
8	東町ふれあい生きいきサロン	東町
9	白浜元気会	白浜町
10	生きいきサロン「ひまわり」	宮小路堂山
11	片山サロン	片山
12	南町元気クラブ	南町
13	松末サロン	松末
14	湊町サロン	湊町
福吉校区		
15	吉井下いきいきサロン	吉井下
16	ふれあい竹戸サロン	吉井上
17	福井わくわくサロン	福井
18	リフレッシュ! 加茂川	佐波
19	パンピハウス	鹿家
20	大入かたりば	大入

志摩地区一覧

No.	サロン名	行政区
可也校区		
1	初ふれあい生きいきサロン	初
2	花の会	師吉団地
3	富士見ヶ丘福祉サロン	富士見ヶ丘
4	津和崎シニアサロン	津和崎
5	仲良し会	師吉
6	ひかりが丘ふれあいサロン	ひかりが丘
7	そよかぜ	師吉団地
8	稲葉ふれあいサロン	稲葉
9	いきいきほほえみ会	小金丸西
10	楽しい仲間作り	師吉
11	師吉区 自由な居場所「もやいの会」	師吉
12	火山シニアサロン	稲留
13	大塚いきいきサロン	大塚
14	なごやか会	小金丸西
15	白うさぎの会	稲葉
16	大石いきいきサロン	大石
17	親山ふれあいサロン	親山
18	新開いきいきサロン	新開
19	行合いきいきサロン	行合
20	ヨーイ元気会	井田原
21	松隈サロン	松隈
桜野校区		
22	笑老会	桜井東
23	さわやか会	桜井東
24	なごみ会	桜井東
25	川上福祉会	川上
26	大町サロン	大町
27	いきましよう会	野北浜
28	間少路クラブ	間少路
29	本村いきいきサロン	本村
30	はつらつ会	川上
引津校区		
31	岐志浜いきいきサロン	岐志浜
32	岐志岡いきいきサロン	岐志岡
33	野辺・福ノ浦サロン	野辺・福ノ浦
34	東貝塚サロン	東貝塚
35	新町いきいきサロン	新町
36	元気会	芥屋
37	みんなの広場	西貝塚
38	松原ふれあいサロン	松原
39	いきいきサロン船越	船越
40	寺山いきいきサロン	寺山

・サロン代表者会（研修含む）

- （ア）代表者研修会 8月10日（前原）、30日（二丈）、31日（志摩） 104人参加
（イ）サロン代表者会 2月20日（前原）、26日（志摩）、27日（二丈） 118人参加
（ウ）事務相談会 3月18日（志摩）、19日（二丈）、21日（前原） 3団体参加

・サロンボランティア団体の代表者会及び会員研修会

第1回 9月8日（会場）あごら

講師 糸島市役所健康づくり課（管理栄養士）峰松 紀子氏ほか

参加者 研修 28人、代表者会 6人

第2回 1月24日（会場）あごら

講師 特定非営利活動法人 介護予防で日本を元気にする会 大群 千鶴氏

参加者 研修 27人、代表者会 8人

・サロンボランティア派遣実績

令和6年度 ボランティア団体数・・・12団体

引き続き、糸島市社協ボランティア連絡協議会のほか、すでにサロンで活動している団体に案内し新規団体の登録に努め、今年度より「ギターアンサンブル・ラーナ」、「かむり文庫」が新規登録されました。

・「サロン訪問ボランティア団体説明会＆個別相談」の実施

活動団体より、高齢化による会員の減少、新たな会員獲得が難しいとの声が寄せられ、引き続き、全団体の活動について紹介する説明会を開催。

その結果、各団体で新規会員の加入につながり、今までの会員層とは異なる年代や性別の会員の増加を受け活動がより活性化するとの声が寄せられました。

日時 2月8日 10:00～12:00

内容 各サロン訪問ボランティア団体による活動紹介、参加者からの個別相談

参加者 10人（ほか、ボランティア 19人）

・特別講演会

福岡県福岡地区介護予防支援センター（福岡リハビリテーション病院）と糸島市と協働し、糸島市内のサロン立ち上げのための支援として、3ヵ年計画で講演会などを実施。

令和6年度は、3地区で講演会を開催し、その都度、サロンについての事業説明を行った結果、つどい立ち上げについての相談が寄せられたほか、参加者アンケートにより、サロンへの理解、参加や立ち上げについての意識に変化が見られました。

① 二丈地区

開催日 6月26日

講師等 福岡県福岡地区介護予防支援センター（福岡リハビリテーション病院）

副院長（医師）花田 弘文氏、健康運動指導士 伊藤 文隆氏

（市健康づくり課、社協地域課）

会場 深江コミュニティセンター 参加者数 78人

② 志摩地区

開催日 9月27日

講師等 福岡県福岡地区介護予防支援センター（福岡リハビリテーション病院）

医師 金森 祐治氏、認知症ケア上級専門士 平嶋 美保氏

健康運動指導士 伊藤 文隆氏（市健康づくり課、社協地域課）

会 場 市健康福祉センターふれあい 参加者数 47人

③ 前原地区

開催日 12月17日

講師等 福岡県福岡地区介護予防支援センター（福岡リハビリテーション病院）

循環器内科医師 原田 敬氏、健康運動指導士 伊藤 文隆氏

（市健康づくり課、社協地域課）

会 場 人権センター

参加者数 41人 全3回参加者数計 166人

・薬剤師会の派遣実績

令和6年度の派遣実績 3回（3人）

（9）特別支援学校高等部送迎バス運行事業（福岡県委託事業）

生の松原特別支援学校高等部の生徒の通学支援のためのバス運行事業

・生の松原特別支援学校高等部登録者数 8人

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登校	96	139	92	87	13	116	83	121	96	112	97	16	1,068
下校	89	120	79	82	12	102	79	105	88	99	83	8	946
計	185	259	171	169	25	218	162	226	184	211	180	24	2014

（参考：令和5年度 登録13人 延べ3,944人）

（10）手話奉仕員養成研修事業

開催期間 5月15日～2月13日

内 容 入門講座（20回） 基礎講座（26回）

受講者数 35名 修了者 21名

（11）障がい支援区分認定調査事業

調査件数 64件（参考：令和5年度46件）

内訳 ・障がい者 53名 ・障がい児 11名

障がい種別 ・身体19件 ・精神18件 ・療育7件 ・身体,療育10件

・身体,精神1件 ・なし9件

(12) 移動支援（集団型）（障害者地域生活支援事業）

生の松原特別支援学校高等部の生徒の通学支援のためのバスの介助員派遣

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学校日	15	21	21	14	2	18	22	21	16	17	17	11	195
延べ派遣者数	60	84	73	56	8	72	82	84	64	72	70	16	741

（参考：令和5年度 延べ806人）

(13) 生活支援体制整備事業

・生活支援体制整備推進協議会の設置、運営

生活支援体制整備事業や地域ささえあい会議の進捗状況の報告、地域課題の共有、移動支援の課題に対する取組の協議などを行いました。

第1回開催日 5月22日 参加者 19人

第2回開催日 9月26日 参加者 18人

第3回開催日 2月13日 参加者 18人

・市との連絡会議（定例会）

推進協議会に向けての協議や生活支援体制整備事業の運営に関する協議の場
年/4回開催

・第2層生活支援コーディネーター（第2層SC）の支援

毎月SC連絡会議を開催し、情報共有や業務に対する相談などを受けながら支援にあたりました。

SC会議の回数 12回

・住民主体の生活支援活動を担う人材養成講座の開催

加布里コミュニティセンターとあごらにて「地域ささえあいサポーター養成講座」（3日間）を開催。講座修了者の中で申し込みをされた人にサポーター登録をいただきました。また、地区別サポーター交流会を地域ささえあいサポーターステップアップ講座にあわせて開催しました。

地域ささえあいサポーター養成講座 受講者 54人

地域ささえあいサポーター登録者 30人が登録

地域ささえあいサポーターステップアップ講座 受講者 120人

・社会資源調査、ヒアリング等

第2層SCと連携して「高齢者にやさしい生活サポート情報誌」の掲載済み団体と新規掲載団体を含め、情報の収集・調査を経て更新しました。

・地域ささえあい会議（第2層協議体）の設置推進

全ての校区で2回以上開催することができました。また、会議を通して地域課題の共有や情報交換が図られ、課題解決のための取り組み等が企画されました。

第2層SCの情報提供により、認知症カフェ2か所の新設にもつながりました。

(14) 糸島市あんしん生活サポート事業（総合事業訪問 B）

- ・地域ささえあい推進員連絡会議

糸島市あんしん生活サポート事業の調整役として、小学校区に地域ささえあい推進員を配置し連絡会議を毎月開催。情報交換、情報提供をはじめ、コーディネートの詳細協議や新メニューの開発、サポーターに対する活動支援に関する協議等を行いました。

地域ささえあい推進員連絡会議 年 12 回開催

- ・利用者実績

各圏域の包括支援センターの協力もあり、様々な機会で事業の周知が図られ、利用者が増加しています。サポート内容としては、ごみ出し支援が全体の 83.3%を占めており、その他については買い物支援と草取りとなっています。

利用者：49 人（令和 5 年度 60 人）

サービス内容：ゴミ出し 1,343 件、買い物他 270 件 計 1,613 件
（令和 5 年度 1,372 件）

- ・校区别サポーター交流会

校区担当の地域ささえあい推進員が校区别交流会を企画・運営。活動が住民主体であることの意義づけや、推進員のリーダーシップ、サポーター相互の連帯感を高めることができている。また、交流会には地域包括支援センター職員や民生委員児童委員も参加され、高齢者に対する事業についての情報共有が図れていることに加え、高齢者にやさしい生活サポート情報誌の新たな掲載候補の情報発掘にもつながりました。

15 校区：10 回開催 延べ 142 人参加

※前原圏域（前原南校区、長糸校区、雷山校区）、二丈圏域（一貴山校区、深江校区、福吉校区）、志摩地区（可也校区、桜野校区、引津校区）はそれぞれ 3 校区で合同開催。

(15) アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

複数分野にまたがる複合化・複雑化した課題を抱えているが、必要な支援が届いていない人に支援を届ける事業で、具体的には各種会議や支援関係機関との連携を通じ、地域の現状や情報等について幅広く収集しながら地域住民とのつながりを構築する中で、課題を抱える相談者を発見し、本人との継続的な関わりを持ちながら相談支援にあたりました。

- ・福祉まるごと相談

福祉まるごと相談窓口を設置し、コミュニティソーシャルワーカーが当事者や関係者からの相談を受け、伴走型の支援を行いました。

月 1 回、相談内容や支援状況について確認をする会議を開催し、継続支援の可否について協議を行いました。

相談者数 783 件（新規 80 件、継続 703 件）

相談形態 面談 349 件、電話 450 件、メール 259 件、訪問 78 件

- ・アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

多機関協働により、課題解決に向けた相談支援を実施する。相談者と継続的な関

わりを持つために、信頼関係の構築に向けた丁寧な働きかけを行いました。

相談者数 772 件（新規 69 件、継続 703 件）

支援回数 訪問 77 件、面接 340 件、電話 434 件、メール 244 件、手紙 129 件、物資支援 72 件、同行支援 71 件、その他 60 件

・プラン作成、支援会議への参加

プラン作成数 1 件

多機関協働事業、参加支援事業とともにプランを作成しました。

支援会議への参加 11 回

多機関協働事業の呼びかけによる支援会議に参加し、課題の整理や支援における役割分担を行いました。

・潜在的な相談者の把握

認知症カフェ「長系みらいカフェ」での出張相談会の実施。

出張相談開催数 11 回

相談者数 3 件（新規 3 件、継続 0 件）

二丈地区フードパントリーでの出張相談及びアンケート記入者へのアプローチ

フードパントリー協力数 11 回

フードパントリー延べ来場者数 725 世帯 920 人

相談者数 35 件（新規 15 件、継続 61 件）

つなぐシートを活用した相談者の把握（子ども支援団体との連携）

相談者数 1 件（新規 1 件）

校区社会福祉協議会の高齢者等の見守り事業の推進

高齢者の集い事業 開催数 29 回（14 校区）、参加者数 1,579 人

見守り訪問 事業回数 70 回（15 校区）、訪問件数 13,995 件

高齢者以外の見守り事業回数 6 回（3 校区）、対象者数 105 人

高齢者以外の交流等の事業回数 84 回（12 校区）、参加者数 2,540 人

（16）参加支援事業

既存の社会参加に向けた事業では対応できない人や、人と場所がつながりにくい人への支援として、本人及びその世帯のニーズや抱えている課題などを丁寧に把握し、地域の社会資源と支援メニューとをつなぐコーディネートやマッチングを行いました。

また、マッチング後において、本人の希望に沿った支援が行われているかを確認するため、フォローアップを実施し、本人が社会との良好な関係性を築くための支援を行いました。

・福祉まるごと相談（アウトリート等を通じた継続的支援事業）

福祉まるごと相談窓口を設置し、コミュニティソーシャルワーカーが当事者や関係者からの相談を受け、伴走型の支援を行いました。

月 1 回、相談内容や支援状況について確認を行う会議を開催し、継続支援について協議を行いました。

相談者数 783 件（新規 80 件、継続 703 件）

相談形態 面談 349 件、電話 450 件、メール 259 件、訪問 78 件

- ・参加支援事業

既存の事業や社会との関係を保つことができない人やその家族に対し、丁寧な相談支援を行い、地域の社会資源や支援メニューとのコーディネートを行いました。また、相談者に寄り添いながら社会とのつながりづくりに向けた支援を行いました。

相談者数 544 件（新規 25 件、継続 519 件）

支援回数 訪問 35 件、面接 264 件、電話 321 件、メール 243 件、手紙 111 件、物資支援 59 件、同行支援 66 件、その他 18 件
つなげようとした場の数 387 件

- ・プラン作成、支援会議への参加

プラン作成数 1 件

多機関協働事業、参加支援事業とともにプランを作成しました。

支援会議への参加 11 回

多機関協働事業の呼びかけによる支援会議に参加し、課題の整理や支援における役割分担を行いました。

- ・資源開拓、マッチング

福祉関係事業所やボランティア団体、民間企業等へのヒアリングを行い、就労体験、ボランティア活動等へのマッチングを行いました。

就労体験数 受入企業数 5 件 体験者数 3 人

- ・人や場所とのつながり支援の実施

ひきこもり・不登校の理解を深める講演会の開催

開催日 8 月 31 日

場所 あごら

講師 加藤 隆弘 氏（九州大学大学院医学研究院精神病態医学准教授）

参加者 51 人

ひきこもりに関する家族の悩みを分かちあう場所「笑顔の集い」の開催。

開催数 6 回（奇数月に開催）

延べ参加者数 48 人

人や社会とのつながりのための居場所づくり

日ごろ家に閉じこもりがちな方、課題・悩み事がある方等の社会参加の場として、「ゆるゆるカフェ」「ゆるゆるプランター農園」を開催。

ゆるゆるカフェ開催数 12 回

ゆるゆるカフェ参加者数 116 人

ゆるゆるプランター農園参加者数 18 人（新規 3 件、継続 15 件）

(17) 生活困窮者等のための地域づくり事業

身近な地域において誰もが安心して生活を維持できるよう、地域住民相互の支え合いによる共助の取り組みの活性化を図りつつ、支援が必要な人と地域とのつながりを適切に確保します。

・地域の福祉ニーズを把握するために必要となる事業

校区社協が主体的に会議を実施できるように、生活支援体制整備事業の第2層生活支援コーディネーター（第2層 SC）と協力して運営支援を行いました。会議開催にあたっては、校区社協の世話役や第2層SCと市社協SCWとで事前協議を行い、介護の方向性について確認し、スムーズな会議になるように進めました。

地域ささえあい会議の回数 32回（15校区）

地域ささえあい会議事前協議 21回（15校区）

・地域住民の活動支援・情報発信等

校区社協の福祉活動に対する支援や情報発信の実施。会長、事務局長会議を開催して情報提供を実施するとともに活動状況の把握に努めました。

校区社協関係の会議の開催 3回

校区社協の活動支援 53回

小地域ネットワーク福祉会の活動に関する相談支援の実施や情報交換の場となる連絡会の開催。

小地域ネットワーク福祉会連絡会 1回

小地域ネットワーク福祉会の活動支援 2回

子ども支援団体連絡会を開催し、情報提供や各団体の情報共有を図り、活動支援を実施しました。

子ども支援関係会議等 2回

地域課題の解決等に向けた新たな対応の創出に取り組みました。

地域住民や団体等の支援等 178回

ボランティア活動に関する活動支援や情報提供の実施。

ボランティア活動の支援等 247回

・地域コミュニティを形成する居場所づくり

地域での新たな居場所づくりのための相談支援や現在活動されている居場所へのつなぎ、既存の居場所の相談支援の実施。

居場所づくりのための支援 99回

既存の居場所への働きかけ 85回

その他の支援 19回

・行政や地域住民、NPO等の地域づくりの担い手がつながるプラットフォームの展開

我が事・丸ごと研究大会を開催し、地域共生社会の実現に向け住民意識の向上に努めました。

我が事・丸ごと研究大会の開催 1回

我が事・丸ごと研究大会の調整 7回

その他の支援 33回

(18) 生活困窮者自立支援相談事業

多機関協働事業と協力して支援していく中で、関係機関との連携やネットワークを強化することができ、複雑化した課題を抱える本人や世帯の孤立を減らし、課題解決に向けた相談支援を実施しました。

新規相談件数は、前年度と同じくらいであるが、プラン件数は過去最多となりました。

また、伴走型支援に取り組むことで、長期的な視点をもち関係機関とつながりを持ちながら、支援のかたちを共に考えることができました。

(プラン作成件数 95 件、家計プラン 56 件)

・相談支援実績

単位：件

内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 合計
新規相談受付件数(総数)		29	32	20	35	22	27	19	33	29	23	35	22	326
継続相談受付件数(前年度からの継続者を含む)		140	113	116	112	103	105	107	119	112	106	127	132	1,392
終了者数(前年度からの継続者を含む)		15	18	28	31	25	17	32	8	37	14	19	11	255
生活困窮を経て、生活保護となった者		2	3	3	1	1	2	1	3	5	4	2	1	28
プラン作成件数(総数)		13	8	8	6	9	6	6	10	7	9	6	7	95
就労支援対象者数 (プラン期間中の一般就労を目標にしている)		9	6	1	2	4	3	4	5	6	4	4	6	54
法に 基づく 事業等 利用 件数	住居確保給付金	0	3	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	6
	一時生活支援事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	家計改善支援事業	8	2	6	5	6	5	2	6	2	6	5	3	56
	就労準備支援事業	1	2	0	1	1	0	0	3	3	0	0	0	11
	就労訓練事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自立相談支援事業による就労支援	7	4	1	3	3	1	4	2	5	4	2	5	41
その他	生活福祉資金等による貸付	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1	6
	生活保護受給者等就労自立促進事業	4	1	1	0	2	0	3	1	2	3	1	2	20

・会議・自主研修会実績

	支援調整会議	定例支援会議	課内研修	自主研修等(テーマ)
4月	18日	12日	30日	30日 課内会議(業務内容等)
5月	17日	10日	17日	17日 課内会議(帳票管理)
6月	14日	3日	21日	21日 悪質商法(商工振興課) 27日 事例検討会 (福岡市社会福祉事業団)
7月	12日	5日		
8月	9日	5日	16日	16日 マイナンバーについて (市民課) 21日 事例検討会 (就労準備支援センター)
9月	13日	6日	20日	20日 課内会議 (業務体制の見直し)
10月	11日	7日	23日	23日 事例検討会 (しごと支援センター木の葉)
11月	15日	8日		
12月	13日	6日	15日	15日 精神障がい者の理解 (精神保健係)

1月	17日	10日	22日	22日 社協全体研修 (人権学習)
2月	14日	3日	21日	21日 相談支援ネットワーク研修
3月	14日	7日	21日	21日 課内会議 (支援対象者について) 随時 電話相談実務研修 (オンデマンドにて)
合計	12回	12回	10回	

(19) 多機関協働事業

令和6年度は事業開始から3年目となることを踏まえ、事業実施による効果を確認するためのアンケート調査や重層的支援会議の回数・内容の再検討などを行い、事業の歩みを関係者で振り返りながら事業を推進しました。また、支援者支援に注力し、支援会議の開催数が増加した1年となりました。

多機関協働事業の相談では、新規21件、継続774件(延べ数)、一般相談75件となっており、その中で、支援会議を開催した「複合化・複雑化した事例」については、12世帯(ケース)17件となり、うち終結は5件(終結率は41.7%)でした。

重層的支援会議では、関係機関の協働・連携により、複合化・複雑化した福祉課題の解決に連携して取り組むことができるよう、支援会議からの事例を用いて意見交換を実施。複合化・複雑化した課題についての認識を共有しつつ、どのような対応や連携が必要になるのか、支援機関同士どのような連携ができるのかなどを考える機会となり、実際の支援にも反映されました。

また、相談支援ネットワーク研修や相談支援機関の連携パンフレット「かおみえ」の作成などをおして、相談支援に関わる職員同士の顔の見える関係づくりやネットワーク強化を意識的に行いました。

・相談者等に対する支援の実施

取り組み	実績
重層的支援会議	・重層的支援会議（全体）：年間 3 回開催 ・重層的支援会議（個別）：年間 1 回開催 支援プランの作成 1 件
支援会議	支援対象 12 世帯 17 回開催 地域福祉課長名で招集し、情報共有、課題の整理、役割や方向性を決める会議として開催
多機関相談	795 件（新規 21 件、継続 774 件） 多機関連携の取組では、連携調整を含む 730 件となり、内訳としては、包括的相談支援事業者が最も多く 329 件（45.1％）で、次いで庁内各課 165 件（22.6％）となった。
重層事業の周知啓発	相談対応の基本姿勢・連携の心得～大切にしたい 10 のこと～ を実現した Youtube 動画を作成し、関係者限定でWEB配信を実施した。 相談員の関係性の構築のための「相談支援機関の連携パンフレットかおみえ」を作成し、相談支援事業者や市役所関係 6 課へ配布した。
相談支援ネットワーク研修会	【1 回目】開催日 11 月 8 日 参加者 43 人 「重層的相談を踏まえた生活の包括的支援について」 講師 臨床ソーシャルワーク研究所 代表 衣笠一茂氏 【2 回目】開催日 2 月 21 日 参加者 27 人 「複雑化・複合化した課題を抱える人や世帯へのチームアプローチ」 久留米大学 片岡靖子 教授

（20）糸島市成年後見制度利用促進事業

令和 6 年度から「糸島市成年後見センター」において糸島市から中核機関の機能の一部を受託し、高齢に伴う判断能力の低下や知的障がいや精神障がいのある人の権利擁護支援のため、成年後見制度に関する相談や手続きの支援を行いました。また、市民に対して制度の周知の為に研修会や出前講座を実施し、制度の利用促進に努めました。

権利擁護支援の地域連携ネットワークの機能強化に向けた取り組みとして弁護士等の士業へのアンケート、医療機関へのヒアリングの実施や糸島市成年後見制度利用促進協議会の一員として関係機関等の連携体制の整備を図りました。

・相談件数（延べ）

相談者種別	電話	来所	訪問	その他	計
本人	17	21	24	0	62
家族	36	27	10	3	76
近隣住民	1	1	1	0	3
知人・友人	3	1	1	0	5
民生委員	2	1	0	0	3
行政関係	42	5	10	3	60
地域包括支援センター	39	14	15	0	68
障がい者相談支援センター	11	5	3	2	21
各サービス事業所	24	9	14	0	47
医療関係	17	0	10	0	27
金融機関	0	1	0	0	1
専門職後見人	12	1	1	0	14
親族後見人	1	0	0	0	1
市民後見人	0	0	0	0	0
その他（上記以外）	17	3	2	0	22
合計	222	89	91	8	410

・成年後見制度申立手続き支援（6件）

内訳 高齢者（4名）、知的・精神障がい者（2名）

内容 後見人（3人）、補助人（1名）、継続中（2名）

・市民講演会の開催（参加者 63名）

日時 7月20日 10:00~12:00

内容 糸島市成年後見センター開設記念講演会 知って役立つ!!「成年後見制度」

講師 福岡県社会福祉士会司法書士 寺田 知未 氏

・市民後見人養成研修修了者スキルアップ研修

対象 市民後見人養成研修修了者 34名

開催日時	研修テーマ	講師	参加
6月29日	市民後見人登録説明・交流会	糸島市社会福祉協議会	10人
10月19日	意思決定支援	福岡県社会福祉士会 福田 江梨 氏	8人
11月5日	精神障がいの正しい理解	福岡県糸島保健福祉事務所 障害者しごと支援センター 木の実 大石 正俊 氏	10人

・糸島市成年後見制度利用促進協議会の運営（2回開催）

開催日時	内容
12月25日	・委嘱状交付 会長・副会長選出 ・糸島市の概要 糸島市成年後見制度利用促進事業の概要 ・糸島市成年後見センターにおける現状の状況
3月10日	・市長申立案件の事例検証 ・医療機関へのヒアリング ・成年後見制度利用促進事業について ・成年後見制度の周知について ・適切な後見人等とのマッチングについて

・成年後見制度に関するアンケート調査

対象者 糸島市内の弁護士事務所・司法書士事務所

34名依頼 回収27名（回収率79%）

（司法書士に関してはリーガルサポート後見人等候補者名簿登録者のみ）

市長申立や日常生活自立支援事業より移行の受任された後見人等

調査方法 糸島市内の事務所は訪問・糸島市外は郵送

・医療機関への成年後見制度に関するヒアリング調査

対象者 糸島市内で連携室がある医療機関及び福岡市西区で糸島市の患者が多いと思われる医療機関（17カ所）

1.1. その他（社会福祉法人の公益的な取り組みも含む）

（1）ライフレスキュー事業の実施

ふくおかライフレスキュー事業では、糸島市内の社会福祉法人が連携し、糸島地区連絡会を開催し、制度のはざま問題への対応や困窮者に対する支援を行いました。

〔支援件数〕

相談件数	5件
支援件数	0件
現物給付件数	0件

糸島地区連絡会の開催

市社協は、連絡会事務局を担当し、連絡会を6回開催しました。

連絡会では、相談事案や今後の対応策等について協議した他、ライフレスキュー事業の周知チラシを作製して周知の拡大を図りました。

また、生活困窮者及びロナ特例貸付利用者等への支援として、糸島地区連絡会で炊き出しを行い、相談会も併せて開催しました。

12. 介護保険事業・障がい福祉サービス事業

①居宅介護支援事業

糸島市社会福祉協議会ケアプランセンター

1. 総括

令和6年度は総合職4名・一般職2名・再雇用2名・パート1名の職員体制でした。困難ケースの受託では、基幹型包括支援センターより1件、西包括支援センターより1件、病院連携室より1件の依頼があり、法人外の居宅事業所より困難事例に伴うケアマネ交代の依頼を受けています。家族に精神疾患があるケースも多く、電話対応や急な訪問等に時間を要しているほか、金銭的な相談も増加しており、福祉の総合相談窓口と連携することも多くなっています。加えて、実績に繋がらない相談業務も多数あり各圏域の包括支援センター、基幹型包括支援センターと情報共有を行いながら対応しています。本年3月に総合職1名の退職があり、要支援については包括支援センターに移管し、要介護者は在職者で担当することとしています。なお、本年度6月には一般職1名の増員を予定しています。

2. 実績

(1) 要介護度別利用者数

単位：件

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	述べ
要支援1	4	5	5	4	4	4	4	5	6	6	6	6	5	59
要支援2	16	17	16	15	15	15	15	15	15	16	16	17	16	188
要介護度1	71	73	75	76	76	75	78	77	72	70	71	76	74	890
要介護度2	69	71	69	72	69	64	62	66	64	63	64	62	66	795
要介護度3	39	36	35	35	34	35	35	38	36	35	36	37	36	431
要介護度4	20	23	26	24	24	23	24	22	23	21	20	22	23	272
要介護度5	15	16	17	19	18	18	18	16	15	16	18	22	17	208
令和6年度計	234	241	243	245	240	234	236	239	231	227	231	242	2,843	
令和5年度計	238	241	236	237	235	231	234	242	250	250	245	239	2,878	

(2) 介護支援専門員一人当たり平均件数

令和6年度	26件
令和5年度	24件

(3) 新規利用件数(年度の新規件数)

令和6年度	101件
令和5年度	84件

(4) 地域別状況

令和7年3月末現在

介護

前原地区	179件
二丈地区	23件
志摩地区	26件
福岡市	7件
その他	7件

支援

前原包括	0件
前原西包括	2件
前原東包括	15件
二丈包括	0件
志摩包括	6件

②訪問介護事業

糸島市社会福祉協議会ヘルパーステーション

1 総括

令和6年度は、総合職2名・一般職1名・再雇用3名・常勤パート7名・パート10名・合計23名の職員体制でした。総合事業（要支援者）の入浴介助の依頼も増え、難病や寝たきりの方等、重度の利用者の受け入れにも対応しており、利用者一人ひとりの状況に合わせたサービスの実施を心掛けています。また、特定の利用者からのハラスメント等、対応が難しいケースもありますが、担当ケアマネや地域包括支援センターへの相談を行い多職種が連携し情報共有や対応方法を日々検討しています。ヘルパーの高齢化が課題であり、人材確保を行いながら後継者の育成に努めていく必要があります。

2 実績

(1) サービス内容別提供時間

単位：時間

支援内容/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数（年）	
													6年度	5年度
身体介護 時間	225.4	225.0	221.2	233.9	225.6	217.8	222.9	220.3	235.4	245.8	244.8	260.6	2,778.6	2,835.1
身体生活 時間	128.4	108.2	97.0	84.3	96.0	98.3	92.4	109.0	119.3	94.3	89.3	95.0	1,211.5	1,464.5
生活援助 時間	268.9	264.3	273.2	313.2	253.9	279.2	281.4	261.6	262.6	255.2	252.7	274.9	3,241.1	3,038.9
令和6年度計	622.7	597.5	591.4	631.4	575.5	595.2	596.7	590.9	617.3	595.3	586.8	630.5	7,231.2	7,338.5
令和5年度計	631.5	634.0	624.0	633.8	625.5	583.7	645.2	638.4	593.3	592.5	561.5	575.1	7,338.5	

(2) 認定区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
事業対象者	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.2	2
要支援1	13	11	13	14	13	14	15	16	16	16	13	14	14.0	168
要支援2	28	28	27	26	27	25	26	26	25	29	29	31	27.3	327
要介護1	11	13	13	13	12	12	12	12	12	10	9	9	11.5	138
要介護2	13	12	10	13	13	10	9	12	11	10	11	11	11.3	135
要介護3	5	4	4	4	4	5	6	6	6	7	7	7	5.4	65
要介護4	3	3	4	5	5	5	5	5	5	5	7	7	4.9	59
要介護5	4	5	4	4	5	4	3	3	4	3	3	4	3.8	46
令和6年度計	78	77	75	79	79	75	76	80	79	80	79	83	78.3	940
令和5年度計	81	78	82	82	79	81	84	83	83	82	77	75	80.6	967

(3) 自主事業

単位：人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	20
時間	3.2	6.3	6.0	6.3	5.0	5.3	6.3	5.3	4.0	3.3	3.3	4.3	58.6

糸島市社会福祉協議会二丈ヘルパーステーション

1 総括

令和6年度は職員1名を増員することができ、11名体制となりました。昨年度積極的にできなかった利用者の拡充にも力を入れ、安定した利用者数を確保することができました。なお、事務所の移転もあり不安もありましたが、業務に支障をきたすことなくサービスの提供を行いました。支援内容としては、全体的に生活援助が減少傾向にある一方で、身体介護・身体生活介護は増加傾向が見られます。今後も利用者のニーズに適切に対応していくことで、支援量の拡充や信頼の向上に努めます。

2 実績

(1) サービス内容別提供時間

単位：時間

支援内容/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数(年)	
													6年度	5年度
身体介護 時間	99.8	105.0	121.1	132.2	123.1	125.0	150.3	128.3	147.2	155.3	151.0	153.2	1,591.5	1,060.5
身体生活 時間	66.5	67.0	42.0	51.5	62.0	83.0	94.2	65.4	56.2	57.2	53.3	55.4	753.7	462.5
生活援助 時間	203.8	205.1	177.5	194.2	161.8	177.5	184.6	176.5	175.7	153.1	154.6	154.2	2,118.6	2,640.3
令和6年度計	370.1	377.1	340.6	377.9	346.9	385.5	429.1	370.2	379.1	365.6	358.9	362.8	4,463.8	
令和5年度計	398.9	344.1	353.3	346.4	352.1	349.1	354.5	372.5	332.1	317.1	275.1	368.1		4,163.3

(2) 認定区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
要支援1	7	6	7	7	7	8	9	9	9	8	11	9	8.1	97
要支援2	21	21	20	20	18	19	20	21	22	22	23	21	20.7	248
要介護1	12	13	14	14	15	16	15	13	14	15	13	14	14.0	168
要介護2	5	4	4	5	5	6	4	5	4	4	3	3	4.3	52
要介護3	3	2	2	2	3	2	2	3	3	3	4	3	2.7	32
要介護4	2	1	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0.9	11
要介護5	3	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2.0	24
令和6年度計	53	49	50	51	50	52	53	54	55	55	57	53	52.7	632
令和5年度計	46	42	48	45	44	43	47	47	46	43	44	50	45.4	545

(3) 自主事業

単位：時間

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人 数	2	2	2	3	3	4	4	4	4	4	4	5	41
時 間	12.0	9.5	10.5	14.5	11.5	13.5	16.0	17.5	14.5	17.5	18.5	18.5	174

糸島市社会福祉協議会志摩ヘルパーステーション

1 総括

令和6年度は、利用者数も月平均5名程増加し、新規利用者56名、入院や死亡による中止が30名でした。また、終末期利用者等の緊急利用の積極的な受け入れにも対応しました。支援時間数については、月70時間以上の増となりました。

介護度別では、要支援者の増加が顕著で、短時間の身体介護や入浴支援の依頼も多く、日常生活のサポートで在宅生活の維持が可能な方もいるため、自立支援に向けたケアも本年度引き続き行っています。

なお、ヘルパーの稼働時間が増えたことによる人員不足の状態が依然続いており、今後の課題となっています。

2 実績

(1) サービス内容別提供時間

単位：時間

支援内容/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数（年）	
													6年度	5年度
身体介護 時間	255.0	261.0	255.0	240.5	240.0	229.5	269.0	257.5	245.0	237.0	236.0	262.5	2,988.0	2,760.0
身体生活 時間	160.5	141.5	117.0	122.0	158.0	160.0	174.0	162.0	169.0	161.0	151.0	132.0	1,808.0	1,134.5
生活援助 時間	390.0	407.0	391.0	466.0	424.5	378.5	385.0	336.0	319.0	301.5	295.5	354.0	4,448.0	4,509.0
令和6年度計	805.5	809.5	763.0	828.5	822.5	768.0	828.0	755.5	733.0	699.5	682.5	748.5	9,244.0	
令和5年度計	611.0	663.5	627.5	660.5	647.0	686.5	751.5	709.5	748.0	719.0	787.0	794.5		8,405.5

(2) 認定区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
事業対象者	8	8	8	9	10	10	10	9	8	8	8	7	8.6	103
要支援1	15	15	17	18	16	15	16	15	18	18	16	16	16.2	195
要支援2	21	21	23	24	23	21	23	21	20	20	19	21	21.4	257
要介護1	13	15	15	16	17	17	16	17	13	10	11	12	14.3	172
要介護2	10	9	9	10	12	12	13	12	12	16	14	17	12.1	146
要介護3	6	6	6	5	5	5	5	5	5	4	4	4	5.0	60
要介護4	8	7	7	8	7	7	8	8	8	7	8	9	7.6	92
要介護5	4	4	3	3	3	3	4	2	2	4	4	4	3.3	40
令和6年度計	85	85	88	93	93	90	95	89	86	87	84	90	88.5	1,065
令和5年度計	77	77	76	79	77	85	87	87	87	89	85	85	82.6	991

(3) 自主事業

単位：時間

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人 数	1	3	2	4	2	2	2	3	4	5	4	4	36
時 間	2.0	7.5	7.0	4.5	2.5	6.0	5.5	8.0	12.0	15.5	9.5	10	90

定期巡回随時対応型訪問介護看護 ヘルパーステーションそれいゆ

1 総括

令和6年度は、令和5年度よりも利用者数が減少しています。要因としては、新規依頼を受けても短期間の支援で終了や、新規利用者の獲得と入れ違いで既存の利用者の死亡や施設入所、家族都合での支援が中止、終了になったことなどが挙げられます。定期的に新規依頼もありますが、契約前に入院や死亡で中止になるケースや従来型サービスが適していて定期巡回の利用に繋がらないケースも多々ありました。また、これまでの3ヶ所の訪問看護ステーションとの連携契約に加え、新たに、訪問看護リハビリステーションよもぎ、訪問看護ステーションten波多江との連携契約を締結したことにより、利用者の選択肢が増えることなどから今後の利用者増に繋げていけるよう努力します。

課題としては、職員の高齢化や人材不足が挙げられるため、引き続き人材確保のための取り組みの強化を図ります。

(1) 要介護度別利用者数及び提供回数

単位：人、回

認定区分／月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	人数	3	3	4	4	4	4	4	4	3	3	4	4	44
	定期訪問	165	170	118	129	107	132	170	161	137	142	181	204	1,816
	随時訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
要介護2	人数	4	6	6	5	5	6	5	5	5	5	5	5	62
	定期訪問	160	219	305	235	258	231	233	227	229	230	210	186	2,723
	随時訪問	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3
要介護3	人数	1	2	2	2	2	2	1	0	1	0	0	1	14
	定期訪問	24	78	46	75	84	63	18	0	6	0	0	62	456
	随時訪問	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
要介護4	人数	2	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	19
	定期訪問	99	62	60	62	59	60	143	142	155	151	131	124	1,248
	随時訪問	0	0	0	0	0	0	1	3	14	8	3	14	43
要介護5	人数	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	19
	定期訪問	93	104	94	91	91	91	92	66	70	63	62	69	986
	随時訪問	13	21	12	9	8	10	14	5	8	1	6	7	114
令和6年度計	人数	12	14	15	14	14	15	14	12	12	10	12	13	157
	定期訪問	541	633	623	592	599	577	656	596	597	586	584	645	7,229
	随時訪問	13	23	12	9	9	11	15	8	22	10	9	21	162
令和5年度計	人数	12	15	15	18	17	14	15	16	15	13	13	13	176
	定期訪問	593	663	604	851	766	612	660	640	600	550	532	566	7,637
	随時訪問	12	17	19	21	21	26	18	26	21	18	17	16	232

(2) 自主事業

単位：人、時間

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

③通所介護事業

糸島市社会福祉協議会デイサービスセンター

1 総括

令和6年4月からの報酬改定では、基本単価は3単位程度増加しましたが個別機能訓練加算が9単位減算になり、介護予防支援の事業所評価加算（120単位/月）も取得ができない等、実質的に減算の状況での厳しい運営となりました。また、延利用者数も前年度に比べ594名減少しています。加えて、令和6年度は退職者が10名（看護師2名、介護職2名、作業療法士1名、運転手5名）とスタッフ不足も顕著であり現場の負担感も強く感じました。また、新規採用も9名行いましたが定着したのは運転手の2名のみであり、今後の課題となっています。

なお、本年度は新しく管理者を配置し、6月より一般職が1名増員予定です。非常勤（派遣含む）も増員し、利用者を増やすことと同時進行でスタッフ数の充実を図ります。

2 実績

(1) 介護日数

単位：日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	21	23	21	22	22	20	23	22	20	20	20	21	255

(2) 要介護度別登録者数及び利用者数

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
														月平均	延べ
事業対象者	実利用者数	3	2	1	2	2	2	2	1	1	1	0	0	1	17
	延利用者数	12	8	4	7	8	8	5	5	4	2	0	0	5	63
要支援1	実利用者数	8	6	5	9	9	11	12	12	14	12	11	10	10	119
	延利用者数	23	20	17	43	35	50	58	50	61	47	47	45	41	496
要支援2	実利用者数	15	17	17	16	16	16	16	16	12	13	12	12	15	178
	延利用者数	92	119	123	115	104	102	111	115	89	75	80	80	100	1,205
要介護度1	実利用者数	26	25	25	26	26	21	20	19	18	18	19	20	22	263
	延利用者数	252	260	238	251	236	209	232	209	181	190	201	213	223	2,672
要介護度2	実利用者数	13	17	15	17	14	12	9	13	11	12	12	12	13	157
	延利用者数	117	150	152	160	125	93	89	109	104	103	102	125	119	1,429
要介護度3	実利用者数	6	4	4	4	4	4	4	5	5	6	7	7	5	60
	延利用者数	79	53	50	51	59	54	63	46	41	55	72	65	57	688
要介護度4	実利用者数	4	3	2	1	2	4	4	4	4	4	4	4	3	40
	延利用者数	27	32	20	12	14	24	36	36	32	33	32	33	28	331
要介護度5	実利用者数	5	4	5	4	5	6	6	4	4	4	3	3	4	53
	延利用者数	49	27	33	30	37	51	56	35	31	24	23	22	35	418
令和6年度計	実利用者数	80	78	74	79	78	76	73	74	69	70	68	68	74	887
	延利用者数	651	669	637	669	618	591	650	605	543	529	557	583	609	7,302
令和5年度計	実利用者数	87	81	77	78	77	79	83	79	79	77	80	78	80	955
	延利用者数	679	673	651	644	672	690	658	684	650	589	619	687	658	7,896

3 生きデイ教室（総合事業）※毎週月曜日に開催

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
														月平均	延べ
令和6年度	実利用者数	16	15	18	19	16	18	19	19	18	18	18	18	18	732
	延利用者数	61	51	56	69	48	65	71	68	68	61	62	52	61	
令和5年度	実利用者数	25	25	26	23	19	25	23	21	21	20	19	18	22	905
	延利用者数	82	89	96	75	57	80	79	75	70	71	67	64	75	

糸島市社会福祉協議会デイサービスセンターそれいゆ

1 総括

令和6年度は、前年度と比較し利用者延べ人数が449人増加しました。増加の要因は、令和5年度よりケアプランセンターに対して事業所パンフレットを配布し、実績をケアマネージャーに手渡しする等の広報活動と困難事例や時短、延長利用希望者を積極的に受け入れたことによるものであると思われます。入院、施設入所などの理由で中止となる利用者が多いため、広報活動を継続し、積極的な受け入れに努めます。

事業所の活動では、ギターの弾き語り、サックス演奏、マッサージ等のボランティアを受け入れ、外出活動、餅つき、カラオケの再開などの利用者に喜ばれる活動を積極的に取り入れながら感染対策にも配慮し、利用者が楽しめる環境作りを行いました。

加えて、利用者の積極的な受け入れにあわせ重層的支援対象の利用者の受け入れ、中間的就労の体験受け入れ、今津特別支援学校の実習生受け入れを行い困難事例や新たなケアが必要な事例を通し、職員会議や職員間コミュニケーションを図りサービスの質の向上にも取り組みました。本年度も同様の取り組みを積極的に行い、地域高齢者、障がい者の在宅生活を支援できる事業所運営に努めます。

2 実績

(1) 介護日数

単位：日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	30	31	30	31	31	30	27	26	24	24	24	26	334

(2) 要介護度別登録者数及び利用者数（述べ件数）

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
														月平均	延べ
事業対象者	実利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	延利用者数	4	5	4	5	4	4	5	4	1	4	2	3	4	49
要支援1	実利用者数	5	4	4	3	3	3	4	4	4	5	5	5	4	49
	延利用者数	19	14	14	15	12	14	18	18	17	16	19	21	16	197
要支援2	実利用者数	10	10	10	8	7	7	8	7	8	7	7	7	8	96
	延利用者数	76	68	62	58	51	49	59	48	52	38	40	43	54	644
要介護度1	実利用者数	17	18	16	14	12	14	14	14	14	14	13	13	14	173
	延利用者数	199	199	147	141	145	162	156	163	149	143	148	166	160	1,918
要介護度2	実利用者数	10	10	10	9	7	6	9	10	11	11	13	14	10	120
	延利用者数	96	85	90	91	86	70	98	92	102	118	126	123	98	1,177
要介護度3	実利用者数	3	7	6	5	7	7	8	7	6	7	7	7	6	77
	延利用者数	23	61	57	43	68	75	70	53	68	72	70	74	61	734
要介護度4	実利用者数	5	5	6	7	3	5	5	4	5	4	4	4	5	57
	延利用者数	40	51	54	56	38	50	47	44	35	46	39	29	44	529
要介護度5	実利用者数	2	3	3	3	4	4	3	3	3	3	4	4	3	39
	延利用者数	9	24	32	31	36	44	16	21	19	19	16	35	25	302
共生型	実利用者数	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	35
	延利用者数	20	20	19	24	22	19	25	23	25	24	23	24	22	268
令和6年度計	実利用者数	53	61	59	53	47	49	55	53	55	55	57	58	55	655
	延利用者数	482	522	475	459	458	483	489	462	467	476	481	515	481	5,769
令和5年度計	実利用者数	45	48	45	46	46	42	47	52	59	56	62	56	50	604
	延利用者数	400	416	411	414	416	363	421	453	498	489	529	510	443	5,320

(3) 泊まり（自主事業）

単位：日、人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	16	15	7	7	7	12	14	13	12	12	14	16	145
実利用者数	3	2	3	3	5	2	4	5	5	3	4	4	24
延利用者数	19	23	9	7	7	17	21	25	18	20	22	25	181

1 総括

令和6年度の延べ利用者数は前年度と比べ391名の減少となりました。主な原因としては、実利用者数の減少と新規利用者が5名だけであった点があげられます。また、利用者の入所、死亡、入院が相次ぎ、実利用者数は減少しているものの、要介護度が上がり家族の介護負担も増え利用回数を増やされる傾向も見られました。加えて、事業所の外周工事等により、利用者の皆様には足元の悪い中に利用していただく事となり、大変ご迷惑をおかけしました。本年度は、二丈ヘルパーステーションの福寿苑移転に伴い、福寿苑職員の出勤や勤務形態に変化がありましたが、混乱することなく対応できています。今後は二丈ヘルパーステーションとの事業所共有による新たな事業所づくりに努めます。

2 実績

(1) 介護日数

単位：日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	26	27	25	27	27	25	27	26	25	24	24	26	309

(2) 要介護度別登録者数及び利用者数（延べ件数）

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
														延べ	月平均
事業対象者	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	実利用者数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	32	3
	延べ利用者数	11	14	11	12	9	7	9	11	11	6	7	7	115	10
要支援2	実利用者数	3	3	2	2	1	1	1	1	1	2	1	1	19	2
	延べ利用者数	15	14	12	8	3	4	5	3	3	5	3	3	78	7
要介護度1	実利用者数	10	11	11	11	10	10	8	8	8	6	6	5	104	9
	延べ利用者数	144	150	150	143	127	106	106	105	90	57	74	68	1320	110
要介護度2	実利用者数	3	3	3	3	3	3	2	2	3	4	4	5	38	3
	延べ利用者数	53	53	49	52	51	50	35	34	48	63	53	71	612	51
要介護度3	実利用者数	1	1	1	2	2	2	2	2	0	3	1	1	18	2
	延べ利用者数	8	8	9	36	26	35	40	25	0	16	10	11	224	19
要介護度4	実利用者数	2	1	0	1	1	1	1	1	1	1	2	2	14	1
	延べ利用者数	9	1	0	4	4	4	3	5	3	2	17	29	81	7
要介護度5	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
共生型	実利用者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	2
	延べ利用者数	33	35	34	35	36	35	39	39	37	35	36	39	433	36
令和6年度計	実利用者数	24	24	22	24	22	21	19	19	18	19	18	18	248	21
	延べ利用者数	273	275	265	290	256	241	237	222	192	184	200	228	2,863	239
令和5年度計	実利用者数	25	26	26	26	25	26	24	24	25	25	25	26	303	25
	延べ利用者数	274	298	277	292	294	271	245	254	251	252	267	279	3,254	271

④障がい居宅介護事業

糸島市社会福祉協議会ヘルパーステーション（障害居宅介護）

1 総括

令和6年度は、身体介護が増加し、利用者数は横ばいでしたが、難病の方の支援も増えていきます。障がいのある人等が住み慣れた地域で安心して自立した生活が送れるよう支援していくためにも、日々学習し多様なニーズに対応できるよう努めます。ヘルパーの高齢化も進んでおり、若い世代の従業員の確保も課題になっています。

（１）サービス内容別利用者数及び提供時間

単位：時間

支援内容/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数
身体介護 時間	158.1	166.1	112.1	114.5	148.1	162.3	120.0	132.6	128.8	129.1	84.2	98.7	1,554.5
生活援助 時間	179.5	172.3	200.2	181.3	148.5	154.5	166.5	158.2	148.3	150.3	146.5	167.5	1,973.5
移動支援 時間	42.2	60.0	11.2	36.0	43.5	29.0	28.0	41.0	26.0	31.3	21.0	9.2	378.4
行動援護 時間	4.0	0.0	0.0	6.0	0.0	7.3	0.0	7.3	0.0	3.0	0.0	1.6	29.2
同行援護 時間	4.0	4.0	6.3	4.3	3.0	0.0	4.0	0.0	2.3	3.0	3.5	4.0	38.4
重度訪問 時間	62.3	20.3	74.0	59.4	67.3	57.0	70.5	59.6	57.2	60.4	58.2	72.5	718.4
令和6年度計	450.1	422.7	403.8	401.5	410.4	410.1	389.0	398.6	362.6	377.1	313.3	353.4	4,682.6
令和5年度計	392.4	396.6	402.2	389.0	324.9	347.1	398.6	393.6	398.8	368.6	386.0	399.8	4,587.6

（２）障害程度区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
障害程度区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害程度区分2	3	3	4	3	3	2	3	3	3	3	3	4	3.1	37
障害程度区分3	8	8	8	7	7	7	7	7	7	8	9	9	7.6	92
障害程度区分4	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	1.5	18
障害程度区分5	4	4	4	4	4	5	5	4	4	5	5	5	4.4	53
障害程度区分6	6	6	6	5	6	6	4	5	5	6	6	6	5.6	67
令和6年度計	22	22	23	20	21	21	21	21	21	24	25	26	22.3	267
令和5年度計	22	23	22	22	22	21	22	23	23	22	22	22	21.8	261

糸島市社会福祉協議会二丈ヘルパーステーション（障害居宅介護）

1 総括

令和6年度も前年度と比較し、利用者数の増減に大きな変化はありませんでした。サービス内容では、身体介護と同行援護に若干の増加がありました。また、事務所移転に伴い、前原方面の利用者を1名前原ヘルパーへ移行する等の対応を行っています。本年度においても利用者に信頼いただける支援ならびに事業所の適正な運営に努めます。

2 実績

（1）サービス内容別提供時間

単位：時間

支援内容/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数 (年)
身体介護 時間	18.0	16.0	16.0	18.0	11.0	17.0	10.0	14.0	17.0	18.0	15.0	23.0	193.0
生活援助 時間	32.0	36.0	31.0	35.0	28.0	32.0	23.0	44.0	44.0	37.5	40.8	37.0	420.3
同行援護 時間	7.8	9.8	8.5	11.0	5.5	9.0	11.0	8.0	10.0	6.8	6.3	6.3	99.8
令和6年度計	57.8	61.8	55.5	64.0	44.5	58.0	44.0	66.0	71.0	62.3	62.0	66.3	713.1
令和5年度計	50.5	50.0	50.0	51.0	48.5	48.0	61.5	60.5	59.5	56.5	62.5	62.5	661.0

（2）障害程度区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
障害程度区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
障害程度区分2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	1.3	15
障害程度区分3	3	4	4	4	4	4	4	4	5	4	4	4	4.0	48
障害程度区分4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0	12
障害程度区分5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0	12
障害程度区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	0.4	5
不明・区分なし その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1	1
令和6年度計	7	7	7	7	7	7	7	7	9	10	9	9	7.3	88
令和5年度計	9	7	7	7	7	7	8	8	8	9	8	8	7.8	93

糸島市社会福祉協議会志摩ヘルパーステーション(障害居宅介護)

1 総括

令和6年度は、利用者数の大幅な変化はありませんでした。サービス内容としては、身体障がい者の通院介助が増加したことに加え、数年ぶりに同行援護者の利用がありました。その他、移動支援に年間93時間程度の支援を行いました。様々なニーズに対応する中で、障がい居宅サービス事業が利用者や家族にとって、在宅生活の維持・向上に必要な不可欠なサービスであることを再確認することができました。

2 実績

(1) サービス内容別提供時間

単位：時間

支援内容/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数(年)
身体介護 時間	90.5	81.5	76.0	72.0	78.0	67.0	71.5	61.0	60.0	67.0	54.5	70.5	849.5
生活援助 時間	165.0	179.0	166.0	158.0	144.0	151.0	150.5	122.5	135.0	136.0	132.5	147.5	1,787.0
同行援護 時間	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	1.5
重度訪問 時間	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
令和6年度計	255.5	260.5	242.0	230.0	222.0	218.0	222.0	183.5	195.0	203.0	188.5	218.0	2,638.0
令和5年度計	194.0	197.5	195.5	203.5	197.0	202.5	210.0	214.0	202.0	208.0	207.0	216.5	2,447.5

(2) 障害程度区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
障害程度区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
障害程度区分2	5	5	5	5	5	4	4	3	4	4	4	4	4.3	52
障害程度区分3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	4.0	51
障害程度区分4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0	48
障害程度区分5	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3.6	43
障害程度区分6	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2.0	24
令和6年度計	19	19	19	19	19	18	18	16	17	18	18	18	18.2	218
令和5年度計	18	18	18	18	18	19	20	21	19	20	19	19	18.9	227

⑤障がい者生活介護事業

糸島市社会福祉協議会デイサービスセンター（基準該当生活介護）

1 総括

令和6年度も基準該当生活介護事業の延利用者数は減少しています。要因としては、ショートステイの利用や施設入所等、自宅で介護に携わる家族の高齢化や介護への限界等の問題が考えられます。

現在の利用者も50歳代、60歳代以上の方が半数以上を占めており、今後も同様の問題が顕著に表れる可能性があります。利用者一人ひとりに対し、家族支援も含め現状のサービスについて見直しを図り、利用者・家族にとって満足度の高いサービスの提供に努めます。

2 実績

（1）障害程度区分別登録者数及び利用者数（延べ件数）

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
														月平均	延べ
障害程度区分1	実利用者数														
	延利用者数														
障害程度区分2	実利用者数														
	延利用者数														
障害程度区分3	実利用者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	延利用者数	10	11	9	11	10	10	11	11	11	11	11	11	11	127
障害程度区分4	実利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	延利用者数	13	13	13	13	14	12	14	13	9	12	12	13	13	151
障害程度区分5	実利用者数	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	35
	延利用者数	33	30	24	34	28	33	30	32	30	30	32	33	31	369
障害程度区分6	実利用者数	5	5	4	4	5	5	3	3	3	3	3	3	4	46
	延利用者数	65	73	56	59	64	50	37	37	35	32	36	38	49	582
令和6年度計	実利用者数	11	11	9	10	11	11	9	9	9	9	9	9	10	117
	延利用者数	121	127	102	117	116	105	92	93	85	85	91	95	102	1,229
令和5年度計	実利用者数	13	11	11	11	10	10	11	11	11	11	11	10	11	131
	延利用者数	130	114	124	105	118	117	110	124	110	114	102	102	114	1,370

* 令和5年度は新型コロナウイルス感染症について、スタッフが個別に感染する等の事例は5例程度あったが施設内クラスターは発生せず、事業所を閉鎖することはなかった。

（2）利用者状況（障害区分、年齢）

単位：人

認定区分	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
身体障害	0	1	0	2	3	2	8
知的障害	0	0	0	2	0	0	2
精神障害	0	0	0	0	0	1	1
計	0	1	0	4	3	3	11

障がい者生活介護事業所ひまわり

1 総括

令和6年度は稼働日数297日（前年比－6日）、延べ利用者数は190名の減少となりました。利用中止は県外移住による1件でしたが、入院やグループホームの利用も多く利用者数の減少となりました。今年度は他事業所からの紹介も含め、新規利用者は2名増となっています。また、特別支援学校の実習も積極的に受け入れを行った結果、新規利用に繋げることができました。加えて、今年度は季節行事の制作活動に力を入れた取り組みを行ったことにより、利用者それぞれの制作物にも個性が見受けられ、利用者家族にも喜ばれています。次年度においても音楽療法や制作活動をはじめ、おやつ作りなど新しい取り組み等も積極的に取り組みます。課題としては、安定した事業所運営を行うための職員体制に不安があるため、今後も、人材確保のための更なる取り組みの強化を図ります。

（1）障害程度区分別登録者数及び利用者数（延べ件数）

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
														月平均	延べ
障害程度区分1	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害程度区分2	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害程度区分3	実利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	14
	延利用者数	4	4	2	5	2	3	4	3	2	4	8	10	4	51
障害程度区分4	実利用者数	4	3	4	4	3	3	3	4	3	2	3	3	3	39
	延利用者数	32	33	33	30	32	30	35	29	25	18	18	17	28	332
障害程度区分5	実利用者数	3	3	3	3	3	4	4	3	3	4	4	4	3	41
	延利用者数	37	43	40	43	38	37	47	35	35	43	42	48	41	488
障害程度区分6	実利用者数	10	12	11	10	11	10	10	12	11	11	13	13	11	134
	延利用者数	121	133	128	126	130	125	117	103	103	91	94	105	115	1,376
令和6年度計	実利用者数	18	19	19	18	18	18	18	20	18	18	22	22	19	228
	延利用者数	165	181	177	177	168	160	181	171	162	181	179	199	175	2,101
令和5年度計	実利用者数	19	19	19	21	21	20	20	20	17	18	20	19	19	233
	延利用者数	195	211	205	201	212	203	188	187	173	162	171	183	191	2,291

（2）利用者状況（障害区分、年齢）

単位：人

認定区分/月	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
身体障害	0	4	1	6	1	1	13
知的障害	0	4	4	1	0	0	9
精神障害	0	0	0	0	0	0	0
計	0	8	5	7	1	1	22

⑥放課後等デイサービス事業

障がい児放課後等デイサービスあごらクラブ

1 総括

令和6年度は、土曜日の利用者が減少しており、前年度に比べ、開所日数は2単位で44回と減少していますが、利用者は延べ143名の増となりました。登録児数が減少している要因としては、他事業所と併用される児童が減ったことによるものであり、延べ人数に影響はしていません。

また、利用支給日数の上限が23日以下となり、総利用日数が減ったことや支給日数に余裕があっても、「土曜日はご家族で過ごす」という選択をされる家庭が増えていることも要因としてあげられます。本年度は、長期休暇時のイベントの中での調理や屋外活動等を積極的に開催し、社会体験等を通じた、家庭ではできない体験の場を提供するとともに、利用児童や保護者が安心して利用していただけるデイサービス活動の提供に努めます。

令和6年度の報酬改定において、5領域（「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」）に沿った療育が求められるようになり、個別支援計画も5療育を踏まえた内容で作成することとなりました。より細かく質の高い療育を求められる状況を踏まえ、研修等を通して、職員のスキルアップや人材育成を図ります。

2 実績

(1) 開所日数

単位：人

単位名/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
そら(1階)	24	24	22	24	20	22	24	21	22	20	19	22	264
にじ(2階)	23	22	23	24	19	21	24	23	22	21	20	23	265

(2) 登録児数及び延べ利用児数

単位：人

項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
														月平均	延べ
登録児数	そら	18	17	17	16	16	16	17	17	17	17	17	17	16.8	
	にじ	14	14	14	15	15	15	15	15	15	15	15	15	14.8	

延利用児数	そら	189	185	164	172	148	160	181	171	193	152	152	191	171.5	2,230
	にじ	193	166	186	197	159	185	198	207	193	200	191	220	191.3	2,486
令和6年度計	合計	382	351	350	369	307	345	379	378	386	352	343	411	362.8	4,716
令和5年度計	合計	413	395	417	403	375	386	370	384	390	334	322	384	381.1	4,573

(3) 利用者内訳

単位：人

項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
小学部	知的	16	15	15	16	16	16	17	17	17	17	17	17	16.3
	身体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
中学部	知的	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.3
	身体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
高等部	知的	8	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7.9
	身体	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2.0